

曾毓雋閣下

横浜正金銀行

取締役 武内金平

拜啓陳者四鄭鉄道短期借款契約ニ附帯シ大正七年二月七日付貴政府ト弊行ト往復シタル文書ニヨル銀四十万円ノ借款ハ本年二月十八日交通総長第五零二号書面ニ抛リ利息ヲ繰入レ九個月延期セラレ本月十八日日期到達致候ニ付テハ更ニ利息ヲ繰入レ利息年一割零五厘即一個年毎百円ニ付十円五十銭ノ割合ヲ以テ一個年延期相成度旨参事陸夢熊氏ヨリ御話有之候処右御差支無之候ニ付御決定ノ上御回答被成下度候 敬具

(附屬書五)

(成号写)

逕啓者十一月二十六日

來函具悉依拠四鄭鐵路短期借款契約所附帯之銀元四十萬元借款既承

貴行允於本年十一月十八日起再延期一年請將年息改為一分零五毫即每一個年對於每百元応付十元零五角之利息本部亦勉為照辦相応函復即請

貴行查照此致

正金銀行

曾毓雋啓八年十二月九日

事項七 中国米輸入交渉ニ関スル件

五一八 一月二日

在南京清野領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

李純江蘇省武器購入ト引換ニ江蘇米日本ニ輸

出方省長ト協議中ナル旨内話ノ件

第一号

一月一日英米領事ト共二年賀ノタメ李純ヲ往訪シタル際同人ハ窃ニ小官ニ対シ当省軍器購入ノ件ニ関シテハ過日ノ依頼ノ通り大臣閣下ニ電報セラレシヤト尋ネタル故即日電報セル旨ヲ答ヘタル処李純ハ貴官ガ斯ノ如ク江蘇省民ノタメニ尽力セララルヲ以テ予ハ江蘇省ガ貴国ニ対シ好意ヲ表スルタメ江蘇米ヲ貴国ニ輸出スル件ニ関シ省長ト協議中ナリト内話セリ

北京へ電報シ上海へ暗号ノ儘郵報セリ

五一九 一月三日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

江蘇米日本へ輸出問題ノ措置方ニ関シ清野事

務代理ノ請訓ニ対スル回訓ニ付報告ノ件

七 中国米輸入交渉ニ関スル件 五一八 五一九

第七号

左記一ノ通り南京ヨリ來電アリタルニ付二ノ通り返電セリ
一、南京發本官宛電報。

江蘇米輸出ニ関シ閣下ノ紹介ヲ以テ当地ニ來リタル角田太郎氏ニ対シテハ其成效ヲ望ミ当地官辺ノ消息ニ通セル一邦人ヲモ紹介スル等爾來助力致シ居リタル折柄卅一日三井上海支店員首藤氏本件ニ関シ過日以來施愚(北方代表者ノ一人)ヲ通ジテ李純ヲ動かシ省長ニ説キタル結果日本領事ヨリ正式ニ李純ニ希望スルニ於テハ直チニ一百万石ノ輸出ヲ許可スルコトニ取運ヒ居ルニ付李純ニ対シ右ノ旨申入レ願ハレ間敷キヤト願出デ尚李純ガ斯ノ如ク俄ニ承諾スルニ至リタルハ今回會議ノ費用ハ之ヲ以テ弁ズル考ヨリ出タルニ由ルモノナル可シト述べ如何ニモ確信ヲ有スルモノノ如ク觀取セラレ且ツ三井ハ本年六月以來本件ノ努力ヲナシ來リタルモノナルヲ知り居ルモ小官ハ已ニ閣下ノ紹介セラレタル或邦人ニ援助ヲ与ヘ居ル行懸リ上且ツ大臣ノ御意見ヲ伺ハザル内ハ希望ニ応ズル能ハザル旨ヲ答ヘ一応拒絕シ置

ケリ成行右ノ如クナルニ付三井側ノ希望ヲ容ルルニ於テハ折角当地ニ来リタル角田氏成効ノ見込殆ンドナク又角田氏ヲ援助スルニ於テハ三井ノ成効ヲ破ルル惧モアル次第ナルニ付テハ本件ハ如何ニ処理シ然ル可キヤ折返シ御回訓ヲ仰ギ度シ

(清野)

二、本官発南京宛電報

貴電第一号ニ関シ

目下ノ急務ハ可成速カニ輸出ノ途ヲ講ズルニアル義ニテ此場合本邦人間ニ兎ヤ角競争スベキ場合ニ之ナキニ付貴官ヨリハ極力三井角田両者ニ対シ如何様ニナリトモ妥協ノ上何ハ兎モアレ速カニ輸出ノ実行ヲ見以テ我焦眉ノ急ニ応ズルニ専心尽力スベキ旨御申聞ケ有リ度シ万一妥協付カザルニ於テハ何レカ早く且ツ支那側ト円満ニ交渉シ我方ノ最モ必要アル米輸出ヲ実行シ得ル方ヲシテ之ニ当ラシムル外ナカル可シト思料ス尚当地三井へモ妥協勸説ヲ試ム可シ

五二〇 一月六日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国ノ防穀令撤廃ニ付陳外交総長代理及船津

五二一 一月八日

犬塚農商務次官ヨリ
幣原外務次官宛

蕪湖米本邦へ輸入ニ付テハ其品質調査ノ上実

行取計ハレタキ件

米第二一号

本年一月一日附ヲ以テ蕪湖米輸出方ニ関シ御照会ノ趣了承相当数量ノ支那米ノ輸入ヲ為スコトハ此際国内ノ現状ニ鑑ミ最モ緊要ノ次第ニ有之今回ノ蕪湖米輸入ノ件ニ関シテモ相当ノ成果ヲ得ル様希望ニ堪ヘサル次第ニ有之候処御承知ノ通蕪湖米ノ品質ハ概シテ劣等ナルノミナラス往々ニシテ飯米ニ使用スルコトヲ得サルモノモ少カラス先年本邦某会社ニテ同米ヲ輸入シタル際ニモ粗悪米ノ処分ニ窮シタル实例モ有之候ニ付テハ此際品質ヲ定メシテ買入ノ契約ヲ為スコトハ考慮スヘキコトト存候就テハ曹汝霖ノ指定スル米カ已ニ其ノ手許ニ買集メ済ノモノナラハ直ニ人ヲ派遣シ其ノ品質ヲ一覽ノ上値段ヲ協定スルコトト致度又今後買入ヲ為サムトスルモノナラハ之亦直ニ人ヲ派遣シテ数種ノ見本ヲ定メ之ニ依リテ値段ヲ協定スルコトト致度尚又値段ニ就テハ本邦内地ノ米価高位ニアル際ナレハ相当ノ価格ヲ以テ

書記官間会談ニ関シ報告ノ件

第一八号

一月四日陳外交総長代理宴会ノ席上船津が同人ニ対シ防穀令ノ撤廃ハ支那ノ如キ農業国ニ取リ絶対必要且ツ有利ナル理由ヲ縷々説明シタルニ対シ同総長代理ハ穀類ノ輸出ヲ解禁スレバ各国之ニ均霑スルコトトナリ其結果多量ノ輸出ヲ見ルニ至ラン現ニ約一カ月許リ前英国公使ヨリモ穀類輸出解禁ヲ要求シ来タリ之ニ対シ未ダ回答ヲ与ヘサルモ今後各方面ニ輸出スルコトトモナラバ自然穀価ノ騰貴ヲ来タシ之カ為メ物論ヲ惹起シ或ハ意外ノ風潮ヲ醸スコトアルヤモ計リ難シ之地方官ハ申ス迄モナク中央政府ニ於テモ今尚躊躇シテ断行スル能ハザル所以ナリト答ヘタル趣ナル処前述英国公使ノ要求事実ナリトセバ往電第七号及客年往電第一八二六号江蘇米及安徽米輸出ノ件ハ此儘引続キ交渉セシムルコトトシ同時ニ防穀令ヲ根本的ニ撤廃セシムル様英国公使ト聯合シテ支那政府ニ要請スルモ亦一策カト思料ス其内英国公使館ニ付右事実ノ有無並ニ本問題ニ対スル其意気込ミ等聞合セ更ニ何分ノ義電報ニ及ブ答

交渉相纏マルヘキコトト存候条大体右ノ趣旨ニテ可然御電訓方御取計相成度此段及回答候也

五二二 一月八日

在南京清野領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

李純ノ江蘇米本邦向輸出ハ本邦ヨリ武器購入

ト引換ナルニ付右武器ノ輸出可能ナルヤ問合

及請訓ノ件

第六号

往電第三号

江蘇米輸出ニ関シ三井対角田ノ妥協一月八日成立ニ就テハ急速ニ進行ヲ計ル必要アル(李純ハ俄ニ本件ノ内諾ヲ与フルニ至リタルハ往電第四号ノ通り今回和平会議ノ機密費ヲ得ンガ為ナリト想像セラルル理由アルガ故ニ若シ右会議ガ上海ニ於テ開カルルコトトモナラバ其機密費ノ必要モ減少スヘキニ依リ或ハ本件ヲ承諾セザルコトトナルヤモ計リ難シ) 処李純ハ往電第一号ノ通り本件ヲ以テ兵器購入ノ交換条件トナサントスル意思ヲ仄メカシ居ルニ付(往電第四号ノ通り支那側ガ小官ヨリ李純ニ正式ニ依頼スル形式ニ致度旨ヲ三井ニ申入レタルハ之ヲ以テ表面ノ理由トナスト同時

ニ小官ノ希望ヲ容レタル報酬トシテ小官ニ対シ兵器購入ノ件ニ関スル斡旋方ヲ強請セントスルニ依ルモノナルベシト觀察セラルル。貴電第一五号及拙電第一〇九号兵器ノ件ハ在支公使宛貴電第一一八二号第二点ノ邦商既定ノ契約義務ハ其履行ヲ阻止セラレザルノ御趣旨ト同様ナルベシト拝察セラルル儀ナルモ為念右ノ心得方確カト承知シ置キ度キヲ以テ本件ヲ正式ニ李純ニ申込ムノ可否ト共ニ可成速カニ御垂示仰ギ度シ
在支公使へ電報セリ

五二三 一月八日 犬塚農商務次官ヨリ
幣原外務次官宛

江蘇米本邦向輸出ニ付活動中ノ藤田諭一ノ身
元調査ノ結果並同人ニ対スル便宜供与方ニ関
シ回答ノ件

秘発第九号 (一月九日接受)

昨年十二月二十九日付通機密送第三七三号ヲ以テ江蘇米日
本輸出並ニ藤田諭一ノ身元取調方ニ関スル件ニ付御来示ノ
趣了承藤田諭一ノ身元地位等ハ十分明確ニスル能ハサルモ
況ニ照ラシ米穀ノ輸出特許ヲ得ルコトハ頗ル望マシキ儀ニ
有之候ニ付普通一般ノ当業者ニ附与セラルルト同様ノ便宜
ハ供与セラレ可然ト存候此段及回答候也

五二四 一月九日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛 (電報)

蕪湖米ノ品質確認ノ上本邦へ輸入スヘキコト
並將来地方官憲省議會ノ米穀輸出反対ニ対ス
ル事前措置ニ関スル件

第一六号

客年貴電第一八二六号ニ関シ農商務省ノ意見ヲ求メ置キタ
ル処蕪湖米ノ品質ハ概シテ劣等ナルノミナラス往々ニシテ
飯米ニ使用シ得サルモノモ少ナカラサルニ付此際品質ヲ定
メスシテ買入ノ契約ヲ為スコトハ考慮スヘキコトト存スル
ニ就テハ曹汝霖ノ指定スル米カ既ニ同人又ハ督軍ノ手許ニ
買集メ済ミノモノナラハ直チニ人ヲ派遣シ品質ヲ一覽ノ上
値段ヲ協定スルコトト致度又今後買入ヲ要スルモノナラハ
是亦人ヲ派遣シテ数種ノ見本ヲ定メ之ニ依リテ値段ヲ協定
スルコトトシ度ク尚又値段ニ付テハ本邦内地ノ米価高位

東京実業組合聯合会ニ就キ調査スル所ニ抛レハ同人ハ重ニ
支那上海ニ在リテブローカーノ如キ仕事ヲ為シ屢々内地ニ
モ帰来シテ東京横浜大阪神戸等ヲ往来シ東京ニ於テハ田岡
政六氏ノ宅ニ宿泊スルヲ常トスト云フ田岡氏ハ上海ニ於テ
田岡洋行ヲ經營シメリヤス商トシテ信用アリ成功者ノ一人
ニシテ藤田ハ同氏ノ事業ヲ助ケタル關係上親交ノ間柄ナリ
トノ趣ニ有之候藤田ノ素行ニ就テハ深く知ル所ナキモ何等
非難スヘキ点ナキカ如シ又本件米ノ輸入ニ付資金ヲ要スル
場合ニハ三井物産ノ常務取締役武村貞一郎氏ト從兄弟ノ関
係上同社ニ於テ相当援助スヘク神戸鈴木商店ニ於テモ亦之
カ融通ヲ辞セサルコトハ事実ナリトノコトニ有之候尚東京
商業會議所東京実業組合聯合会等ニ於テハ屢同人ノ訪問ヲ
受ケタルコトアルモ特ニ調査ヲ委嘱シタルコトナク唯東京
商業會議所ヨリハ江蘇米ノ在荷調査ニ関シ省長及商務總會
へ宛テタル紹介状ヲ發給シタル趣ニ有之候

要スルニ同人ハ公共団体等ノ囑託任務ヲ有スル者ニ非サル
モ若シ支那ニ於テ輸出特許ノ利權ヲ得ハ之カ遂行ニハ相当
ノ資本金可有之者ト被認候就テハ本人ノ行動ニ関シ特ニ重
大ナル援助ヲ与ヘラルルノ必要ヲ認メスト雖目下内地ノ状

ニアル際ナレハ相当ノ価格ヲ以テ交渉纏マルコトト思考ス
ル旨今般同省ヨリ回答アリタルニ付貴官ニ於テモ右ノ趣旨
ニ依リ御交渉相成度シ猶先般來江蘇米輸出交渉ノ成行ニ鑑
ミルニ貴館ト中央政府トノ取極カ地方官憲並ニ省議會等ノ
反対ノ為メ覆ヘサルルノ虞アルニ付本件交渉ニ付テモ篤ト
此点ヲ考量シ後日地方官紳ノ反対ヲ理由トシテ折角ノ取極
ヲ実行セサル様ノ事ナキ様子メ相当措置スルノ要アリ就テ
ハ曹汝霖ノ申出カ督軍省長並ニ省議會トノ話合ニ基クモノ
ナリヤ否ヤ又仮令右様ノ手続ヲ履マサルモノトスルモ地方
官民ノ反対ノ有無ニ拘ハラズ督軍側ニ於テ本件買付及輸出
ヲ断行スルノ決心アリヤ否ヤヲ確メラレ万一地方官民反対
ヲ鎮圧ノ方法ヲ講スルノ要アリト認メラルル場合ニ於テハ支
那政府ヲシテ其ノ全責任ヲ負担セシムル様御任向相成度猶
必要ニ応シ本邦側ヨリモ地方的反対緩和ノ方法ヲ講スルコ
トトスルモ差支ナキニ付此辺ニ関スル貴見御電稟アリタシ

五二五 一月九日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

三井ガ江蘇米六万担ノ日本へノ輸出特許ヲ受

ケタル件

第三一号

今回三井ハ江蘇米ヲ一旦大連ニ輸出シ同地ヨリ更ニ貧民救済ノ用ニ供スル名義ノ下ニ四万包(約六万担)ヲ限り日本へ輸出ノ特許ヲ財政部ヨリ受ケタル由ニテ同部ヨリ大連税関へ必要ノ訓令ヲ発シタル趣且ツ每百斤ニ付執照費銀一弗ヲ納付スルコトトナリ居ル旨当地三井出張員ヨリ届出アリタリ委細郵報

五二六

一月十日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

三井ノ江蘇米本邦向輸出ニ対スル江蘇省当局ノ態度ニ関シ取調ノ上回電方訓令ノ件

第一七号

貴電第三二号ニ関シ三井ハ江蘇地方当局殊ニ従来米輸出ニ就キ強硬ニ反対シ来リタル同省々長トモ話合ノ上一旦大連ニ輸出シ又ハ輸出セントスルモノナリヤ地方当局ノ態度ハ今後ノ江蘇省産米輸出方交渉ニ重大ナル關係アルモノト認めラルルニ付此辺御取調ノ上何分ノ義電報アリタシ

江蘇省選出国會議員等ハ李純カ本件許可ノ意思アルヲ聞知シ一月九日数人連名ニテ李純ニ対スル不許可希望ノ電報ヲ発セリトノコトニテ旁々一日モ猶予ナリ難キ状況ナルニ付往電第三号公使御訓電ノ次第ニ鑑ミ小官ノ責任ヲ以テ今十一日督軍及省長ニ対シ兵器問題ニハ何等触ルルコトナク本件ハ公使ニ於テモ希望セラルルモノナルコトヲ具シテ成ル可ク速ニ輸出許可相成度キ旨ヲ書面ヲ以テ申送レリ右御追認ヲ仰キ度シ因ニ三井ノ本件許可願書ハ客月末日施愚ラシテ李純ニ差出セル趣三井ヨリ申出アリタリ
在支公使へ電報セリ

五二九

一月十三日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

三井ガ本邦向輸出スル中国米ノ出所及其入手
經過ニ関スル件

第六〇号

往電第三一号江蘇米トセシハ支那米ノ誤ナリ大村ノ云フ所ニ依レハ当地ニテハ右支那米ノ産地不明ナルモ多分安徽米ニテ蕪湖ヨリ輸出シタルモノニアラスヤト推測セラル右ハ

七 中国米輸入交渉ニ関スル件 五二九 五三〇

五二七

一月十一日 内田外務大臣ヨリ
在南京清野領事館事務代理宛(電報)

江蘇米本邦向輸出ニ付藤田論一ノ取扱ニ関シ
指示ノ件

第一号

昨年機密第四二号貴信ニ関シ藤田輪一ハ公共団体等ノ囑託ヲ受ケ居ルモノニ非ザルモ目下内地ノ状況ニ照シ米穀ノ輸出特許ハ頗ル望マシキ義ニ付同人ノ行動ニ対シ特別ノ援助ハ差控ヘラレ度キモ一般当業者ニ附与セラルルト同程度ノ便宜ヲ供与セラレ差支ナシ
委細郵報

五二八

一月十一日 在南京清野領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

江蘇米本邦向輸出早急許可方江蘇省督軍及省
長ニ要請シタルニ付右追認方稟請ノ件

第八号

江蘇米輸出ニ関シテハ往電第六号ノ通り急速ニ事ヲ運フ必要アルニ未タ右拙電ニ対スル御回電ニ接到セサル処在北京

本邦ニテ米騒動發生當時関東都督府ニ於テ大連方面ニテモ必要ヲ生スルコトアルヤモ計リ難キヲ慮リ約二万包ヲ輸入シタル処幸ニシテ不用トナリタル為メ之ヲ三井ニ払下ルコトトナリ三井ハ財政部ニ護照下附出願ノ際更ニ二万包ヲ加ヘ合計四万包トシテ願出タル処同部ハ三井出願ノ通許与シタル次第ナル趣ナリ
上海、南京へ電報セリ

五三〇

一月十四日 在南京清野領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

三井ノ本邦輸出米ハ蕪湖米ナルニ付江蘇米ニ
関シテハ引続キ交渉中ナル件

第一三号

閣下宛在支公使発電報第三一号ノ件ハ嘗テ在西比利亞(脱)隊用トシテ大連ニ輸出セシ安徽米四万石分ニテ往電第九号江蘇米トハ全然別口ナルコト上海三井ニ就キ確メタルニ付右拙電ノ件ニ関シ其後引続キ交渉中ナリ御含置アリタシ右交渉成行郵報ス(十四日)
在支公使へ電報セリ

五四七

五三一 一月十五日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

江蘇米本邦へ輸出ニ関スル三井對李純督軍ノ
交渉取纏方促進ノ件

支極秘第一号

上海三井支店ヨリ当地三井宛督軍ニ収ムヘキ米輸出ニ関ス
ル手数料ハ万膳主計正上海ニ到着ノ上之ヲ為スヘントノ意
味ノ東京本店ヨリ命令ニ接セシカ該主計正未タ到着セサル
故支払出来ス為ニ督軍トノ交渉ヲ纏メ難ク又督軍トノ交渉
ニ就キ公使ヨリ領事ニ速進スヘク命セラレンコトヲ望ム二
十日(新曆一月二十一日)迄ニ督軍トノ交渉ヲ纏メサレハ
旧年末ニ切迫シ買付ニ困難ナリトノ來電アリ
右万膳主計正上海三井支店ニ到着前交渉取纏メ難キ云々ノ
三井本店ノ電報ハ何等カノ行違アリト思考スルニ依リ小
官ハ本月十一日ノ本電ニ基キ万膳主計正ノ上海三井ニ到着
ヲ待ツコトナク至急交渉ヲ取纏メ輸出手数料ノ前渡ヲ為ス
モ可ナリト本日大村ニ指示ヲ与ヘタリ又大村ヨリハ此旨直
ニ上海三井ニ電報スルト共ニ当地三井物産主任ヲ本日上海
ヨリ本日南京領事ニ督促シ且其情況ヲ逐一電報スヘキヲ命
シタリ要スルニ三井對督軍ノ交渉尚未タ纏マラス買付交渉
纏マリ次第直ニ決行スル順序ナリ

五三二 一月十六日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

江蘇米本邦へ輸出ニ付三井・督軍間ノ交渉急
速進捗方ニ関スル件

支極秘第十二号

三井本店ニテハ督軍トノ交渉ハ既ニ熟セルカ如ク思惟シ居
ルヤニ思考セラルルモ目下ノ情況ハ三井對督軍間ノ交渉ヲ
細心ノ注意ヲ用ヒ最モ急速ニ進捗セシムルコト肝要ナリ本
日多賀大佐ヨリノ電報ニ依レハ目下主トシテ領事ニ於テ適
当ニ処置シ居ルモ支那側内部ニ種々ノ事情アリテ急ニ目的
ヲ達シ得ルヤ否ヤハ尚疑問ナリ現在ハ未タ反對ノ声ヲ聞カ
サルモ将来暴露シタル場合ハ多数ノ反対起ルハ必然ナラン
云々ト之ニ就キ是等ノ事情ヲ精査シテ適當ノ処置ヲ為シ速
ニ交渉ヲ取纏メ迅速ニ買付ヲ実施セシムル為昨電ノ如ク當
地三井物産主任吉富ヲ南京ニ急行セシムルコトトセリ但シ

ニ派遣スル筈ナリ念ノ為閣下ヨリモ三井本店ニ至急交渉取
纏ムヘキ旨御指示相成度シ唯万膳主計正ヲ当地ニ留メアル
ハ督軍トノ交渉ニ就テハ直接該主計正ノ上海ニ在ルヲ必要
トセス之ニ反シ万三井對李純トノ交渉纏マラサル場合ニ
於テハ更ニ他ノ方法ヲ講究スルノ必要アルヲ以テ今日同主
計正ヲ上海ニ派遣スルハ其時機過早ナリト信スルニ由ル
(東少將モ同意見ナリ) 又三井本店ヨリ当地三井宛電報ニ
依レハ李純督軍ヨリ大連へ輸出スルコトノ許可ヲ得ハ支那
中央政府ニ關係ナク輸出シ得テ便ナリト思考ス之ニ就キ小
官ノ意見如何ト問合セ来レルモ縦ヒ大連ニ輸出スルモ大連
ヨリ日本内地ニ輸出スル為ニハ更ニ支那中央部ノ認可ヲ要
スルコトハ過日大連ニ在ル四方袋ノ南京米ヲ輸出セシト同
然ニシテ矢張り中央部ノ許可ヲ得サルヘカラスサスレハ上
海方面ヨリ直ニ内地ニ輸出スルニ比スレハ手續却テ煩雜ナ
リ但シ督軍ヨリ日本へノ輸出許可ノ交渉纏マレハ中央部ノ
承認ヲ得ルコトハ容易ナリ故ニ貴省ニ於テ他ニ特別ナル事
情ナキニ於テハ上海ヨリ直ニ日本内地ニ輸送スルコトニ取
計ヒテハ如何此儀何分ノ御指示ヲ乞フ

三井對李純督軍ノ交渉ヲ速ニ取纏ムルコトニ就キ小幡公使

当北京方面ノ内情ハ概シテ良好ニ進捗シ大總統モ同情ヲ有
シ曹汝霖ノ言ニ拠ルモ目下大ニ配慮シツツアリト云ヒ汪
大燮、林長民等モ亦努力シアルカ如シ又万膳主計正ノ上海
派遣方ニ関シ東京三井ヨリ数次電請シ来リ同主計正ノ上海
ニ到ル事ニ最モ重キヲ置ケル模様ナルニ依リ鈴木、高橋ヲ
当地ニ残シ万膳ノミ取敢ス本日吉富ト共ニ南下セシムル事
トセリ

五三三 一月十七日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

大倉組ノ蕪湖米本邦へ輸出ニ付曹汝霖ト接衝
ニ関シ具申及請訓ノ件

第七三号

貴電第一六号御訓示ノ次第ハ從來ノ行懸上武内ヲシテ篤ト
曹汝霖ニ伝達セシメ置キタルガ一月十六日武内ノ申出ニ依
レバ本件ハ其後曹汝霖ノ方ニ於テ折角安徽督軍ト打合セ中
ナル趣ノ処一方蕪湖米ニ就テハ先般大倉側ヨリモ開談シタ
ルコトアル關係上今回安徽督軍ヨリ直接大倉組当地出張員
ニ對シ一等機械搗白米三十万袋四十日以内蕪湖渡六弗ニテ

至急取扱メ度旨申出アリタリトノ事ニ付武内ヲシテ早速曹汝霖ト協議ヲ遂ゲシメタル処曹モ右大倉トノ交渉ヲ進行セシムルニ何等異存ナキ旨答ヘタル趣ナリ就テハ貴電第一六号ノ次第ニ鑑ミ兎モ角至急人ヲ派遣シ場合ニ依リテハ大倉出張員同道直接督軍ト会商ノ上先方申出ノ米ノ品質等ヲ実見シ我國民ノ食用ニ供シ得ル程度ノモノナルニ於テハ一日モ速ニ解決ヲ計ル方可然カト存ズ農商務省ヘモ御伝達ノ上至急実地見聞ノ人物派遣方御詮議アリ度ク尚何分ノ義御電訓ヲ請フ因ニ武内カ曹汝霖ニ確メタル所ニ依レバ本件輸出ニ対スル護照ハ何時ニテモ取運ブ事ヲ得ベク又督軍側ニ於テハ財政ノ都合上交渉ヲ取急キ居ル模様ナルニ付速カニ何分ノ御決定ヲ煩ハシ度シ米ハ軍用米買上ノ例ニ依リ督軍ノ手ニテ三十万袋位ハ遅滞ナク買入得ベキ見込ナリト云フ

五三四 一月十七日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

三井ノ江蘇米本邦ヘ輸出ニ付其輸出可能量及輸出不可能ノ場合ノ措置ニ関シ意見具申ノ件

稍確實ナル三井ノ調査ニ依レハ目下購買計画中ナル江蘇米

ヲサルニ依リ中央政府ヨリ特許方ヲ命令スル以外他ニ適當ノ方法モ無カル可シト内話アリタルヲ以テ今十八日省長ヲ往訪シ中央ヨリ命令アラハ何等異議ナク特許セラルルヤト念ヲ押シタルニ省長ハ右ハ命令ノ内容如何ニ依ル次第ナカラ國民ノ地方官タル自分トシテハ中央ノ命令ヲ貴ハサル可カラサルト同時ニ地方ノ民意ヲモ重ンセサル可カラサルカ故ニスノ如キ命令アラハ臨時省議會ヲ召集シテ其議ニ附シ出来得ル限り通過ヲ計ル可シト答ヘタリ
省長ノ意嚮右ノ通ナル処本件ヲ省議會ノ議ニ附シタル時ニ於テ否決セララルルカ如キコトモナラハ(現在ノ狀況ニ於テハ殆ト通過ノ見込ナシ)再ヒ手ノ下シ方モナキ状態ニ陥ル可キニ付省議會ノ議ニ附セス緊急命令ヲ以テ特許スル様督軍省長ニ対シ中央政府ノ発令方御取計結果御回電ヲ仰キ度シ
本件ニ関シ三井カ督軍省長ニ提出シタル契約案ハ貴地三井ニ就キ御一覽ノ上若妥當ナラサル点アルニ於テハ予メ御内示アリタシ
外務大臣ヘ電報セリ

ノ輸出能力ハ一ケ年約百万石乃至百五十万石ナルカ如シ又天津附近ニ於ケル現在高ハ約五万石ニ過キサルモ解氷後ニ至レハ二、三十万石ハ直ニ各方面ヨリ集マルモノニシテ其品種頗ル複雑ナルモ購買シ得ル見込アリト謂フ之亦看過スヘカラサルモノナリ然レトモ目下直ニ之ニ手ヲ着クルモ多量ヲ得ル見込ナクシテ却テ市場ヲ攪乱スルノ虞アルニヨリ江蘇米ノ輸出ニ成功シタル後若クハ万一不成功ノ場合ニ於テ之カ購買ニ着手スルヲ可ナリト信ス委細文

五三五 一月十八日 在南京清野領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

江蘇米本邦ヘ輸出ニ関シ督軍省長ト会谈ノ結果中央政府ヨリ督軍省長宛宛緊急命令ヲ発セシムル様小幡公使ニ稟請ノ件

第一四号

本官発在支公使宛電報第一三号

江蘇米輸出ニ関シ一月十七日李純ヨリ篤ト省長ト相談シタルモ省長ハ省議會側ノ反対ニ鑑ミ如何トモ許可ナシ難シトノコトナルニ付テハ省長一人ニ責任ヲ負ハシムルモ面白カ

五三六 一月十八日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

米輸出許可弁法ニ付陳代理外交総長内話ノ件

第八三号

一月十七日日本使陳代理外交総長ニ会见ノ際同代理総長ハ米輸出許可弁法ニ関シ昨十六日ノ閣議ニ於テ既ニ大綱ヲ決定シタルニ付更ニ内務部ニ於テ右大綱ニ基キ細則ヲ確定シ近々ノ閣議ニ提出シ決定スル筈ナリト内話セリ

五三七 一月十九日 内田外務大臣ヨリ
在上海有吉総領事宛(電報)

山下永野兩人ハ江蘇軍用米本邦ヘ輸出ノ計画ヲ以テ上海向出発ノ件

第九号

山下太郎及永野護ノ兩人江蘇督軍署軍糧課長朱百年及葛祖鑰トノ契約ニ基キ江蘇軍用米ヲ厦門輸出ノ名義ニテ本邦ニ輸出スル計画ヲ以テ近江丸ニテ貴地ヘ向ケ出発シタル処斯クノ如キ不正手段ハ後日支那米本邦輸出ニ関スル一般計画ヲ阻害スル虞アルニ付同人等貴地着ノ上ハ一応事情御聞取ノ上貴官ノ御見込ニヨリ右計画遂行方差止メラレ度シ尙本

人等ハ貴官宛高尾総領事ノ添書ヲ持参シ居レリ

五三八 一月二十日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ
福田参謀次長宛(電報)

江蘇米本邦二輸出交渉スルモ長引クヘキニ付

天津市場及江西安徽各省ノ米購買方ニ関シ請

訓ノ件

支極秘二〇号

江蘇米輸出ニ付省長ハ輿論ノ攻撃ヲ怖レテ未タ承諾スルニ到ラス之ニ就キ百方手段ヲ講シツツアルモ交渉ハ稍々長引クナラント思ハル然ルニ北京ニ於テハ幸ニ軍事協定期限延長ノ交渉モ概ネ成功ノ見込付キタルニヨリ此際支那当局者ニ迫リ其ノ交渉ヲ益々推抄セシムルノ外更ニ天津市場ニ於ケル米ヲモ買収スルコトニ就キ金谷少將トモ協議シ之カ購買ヲ開始セントス(支極秘十四参照)而シテ其実施ニ就テハヤハリ三井(要スレハ其他ノモノヲモ)ヲ指導スル考ナリ此外江西及安徽米ノ我使用ニ堪フルモノヲモ購買スルヲ可トス之カ為メ買収シ得ヘキ数量ハ未タ直チニ子測シ難キモ其後ノ情報ニ依レハ江西省丈ケニテモ百万石(支那枬)

ヲ阻止スル考ニ付到底成功ノ見込ナカルベク直ニ思止マルノ然ルベキヲ説示セル処彼等モ遂ニ其意ヲ諒シ断念スル旨言明シ早速支那人側トノ後始末ヲ附ケタル上更ニ報告スル旨申居タリ

五四〇 一月二十二日 犬塚農商務次官ヨリ
幣原外務次官宛

大倉組ノ蕪湖米買入及輸入ニ関シ回答ノ件

米第七〇号

本月二十日附通機密送第十九号及同二十一日附通機密送第二十五号ヲ以テ御申越之趣了承右ニ付正金銀行頭取ヨリ注意モ有之蕪湖米買入及輸入ニ付大倉組ト目下交渉中ニ有之候条右交渉ノ結果ヲ待チ当省技術者派遣方取極度右御了承之上小幡公使ヘ一応御伝達相成度此段及回答候也

五四一 一月二十二日 在南京清野領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

江蘇米本邦輸出ニ付江蘇省督軍及省長連名尽

力致難キ旨ニテ申越シタルモ之ヲ返戻ノ件

第一六号

安徽省ニモ稍々多量ノ剰余米アリト云ヘバ之亦可ナリノ数量ヲ得ラルヘント思ハル詳細ハ事ノ進行ニ伴ヒ報告ス而シテ天津ニテ購買セシモノハ軍用米トシテ大連ニ集積スルノ方法ヲ取ラントス御承認ヲ得ハ直チニ実施ニ着手スヘシ

五三九 一月二十一日 在上海有吉総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

山下永野等ノ江蘇米本邦輸出計画取止方説示

ノ結果同人等断念ノ件

第一四号

貴電第九号ニ関シ

今朝山下、永野等来訪彼等ノ計画ハ山本農商務大臣ノ多大ナル「サツポート」ニ依リ船舶ヲ通信省ニテ心配シ本邦荷附ケ通関手續ニモ特別ノ詮議ヲ与ヘラルル筈ナルニ付右ニ含ミ置カレタキ旨申出タルニ付本官ハ仮令右ヲ事実トスルモ此種不正手段ノ直ニ暴露スルニ至ルベキハ勿論ニシテ其結果ハ本邦人一般ニ一層ノ不信用ヲ齎シ或ハ延イテ國際ノ問題タルノ虞アリ彼等自体モ結局多大ノ損害ヲ被ムルベキハ見易キ所ナルヲ以テ本官ハ職責上右ノ如キ計画ハ極力之

往電第八号所報ノ拙信ニ関シ(一月二十一日)本件ニ関シテハモトヨリ尽力致シタキ所存ナルモ江蘇省ハ永年米ノ輸出ヲ禁シ居リ特ニ過般省議會ハ其嚴禁ノ再申請ヲ議決シ事民意機関ノ議決ニ係ルノミナラス又条約ニモ抵触スルヲ以テ遺憾ナカラ尽力致シ難キニ依リ右了知ノ上三井ニ伝達アリタシトノ次第ヲ李純齊耀琳連名江蘇督軍江蘇省長ノ官印ヲ捺シタル書面ヲ以テ回答シ来リタルニ付今二十二日李純ヲ訪ヒテ其意ヲ糺シタルニ李ハ公使ヨリ王克敏ヲ通シテノ依頼モアレハ余ハ決シテ此上ノ尽力致シ難シトイフニアラス現ニ当省ニモ之カ為調査官ヲ特設シテ輸出ノ可能ヲ数字的ニ立証セシメントモ考ヘ居ル次第ナリト答ヘタルニ依リ小官ハ貴督軍ノ如キ好意ヲ有セラルル上ハ必ス成功スヘク且本件ハ貴督軍過日ノ御内示ニ基キ其特許方ヲ中央ヨリ命令スル様交渉アリタキ旨ヲ既ニ公使ニ電稟シタルカ故ニ北京ニ於テモ何等カノ交渉アル(脱)今日軍民両長官カ共ニ小官ニ対シテ尽力シ難キ旨ヲ言明セラレタリトアツテハ右交渉ノ進行ニ障害ヲ及ホスヘキ恐アルニ付該信書ヲ撤回セラレマシキヤト述ヘタルニ李ハ之ヲ快諾シタルニ依リ該信書ヲ氏ニ返戻セリ

在支公使へ電報セリ

五四二 一月二十二日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

江蘇米本邦へ輸出ニ関シ中国ノ諸事情ヲ考慮

シテ交渉中ナル旨並上海ノ糧食研究会ヨリ中

央政府宛建議ニ付報告ノ件

附屬書 一月二十九日附上海糧食研究会ヨリ國務院財政

部農商部宛

右建議電文

機密第四九号

(二月一日接受)

江蘇省一帯ハ連年ノ豊作ナルモ輸出禁止ノ為メ存米載積シ
テ米価跌落シ為メ金融渋滞シ農民商民共ニ其弊ヲ受クル
ノ実情ニテ之カ救済方法トシテハ或ル制限ノ下ニ輸出解禁
ノ外ナシトハ地方農商実業者一般ノ輿論希望ナルニ拘ハラ
ス昨年来我国米穀調節ノ為メ同地方米穀輸出入ニ関シ官民
兩方面ヨリ種々交渉ヲ試ミ居ルモ今尚ホ其実行ヲ見ルニ至
ラサル次第ハ要スルニ政治上ノ關係ハ其一因ナルモ例ヘハ
中央政府關係当局者輩ハ此輸出ヲ機會トシテ其利益ヲ壟斷
セントスルカ或ハ地方關係者ニ於テ其利益ヲ専ラニセント
セハ中央者カ却テ之ヲ阻止セントスルヤノ氣味有之現ニ昨

上充分躊躇顧慮スベキ問題ナルベキモ今日ノ如ク交通ノ漸
ク発達シタル際輸出禁止ノ旧制ニ拘束セラルルカ如キハ各
時各地方ノ実情到底忍ヒカタク所ナルハ当然ニ有之連年豊
作ノ江蘇省一帯載積米穀ノ輸出ハ差当リノ必要ニ有之ニモ
拘ハラズ昨年来我方面交渉ノ希望ノ今尚実現スルニ至ラサ
ルハ略ホ前述ノ通ナルニ今ヤ該地方關係有力者ノ間ニ於テ
此種ノ建議運動アルニ徴セハ制限の解禁輸出ハ地方当局官
吏及中央政府当局者ハ其輸出ノ利益ヲ按配スルコトハ尤モ
必要ニテ徒ラニ其利益ヲ壟斷セントスルカ如クハ到底円満
ノ解決進行ヲ期シカタクハ当然ニ就キ本使ニ於テハ篤ト此
辺ノ事情ヲ斟酌シ折角交渉中ニ有之候

前述糧食研究会ヨリ北京國務院、財政部農商部ニ宛タル一
月十九日附建議電報ハ一月二十二日ノ政府公報ヲ以テ別紙
ノ如ク掲出セラレ居候ニ付委細ハ就イテ御詳悉相成度該電
連名者ニヨリ此建議輿論ノ有力ナルモノタルヲ徴知スベク
候

右及報告候也

本信写送付先在上海有吉総領事在南京清野事務代理

(附屬書)

年中我方ノ中央政府ニ対スル交渉中其一味ノ關係者ト目サ
ルル王克敏陸宗輿等カ大有公司ナルモノヲ組織シ其手ニヨ
リ輸出ノ利益ヲ壟斷セントシタルノ一事ハ甚シク地方官民
ノ感情ヲ害シ或ハ民論ノ表面的反對省議會ノ反對トナリ遂
ニ荏苒今日ニ及ヘル様ノ次第ニ有之而モ今日江蘇一帯農民
商民ノ窮迫ヲ救済スルノ方ハ其載積セル米穀類ノ輸出ヲ以
テ差当リノ要因トスルノ外ナキハ一般ノ認ムル所ニ有之江
南ノ耆宿馬良以下其先輩官紳商務會議会側有力ヲ網羅シタ
ル糧食研究会ナル者上海ニ組織セラレ例ノ熊希齡及孫寶琦
(当時上海ニ赴キ居)等モ之ニ賛同シ本年一月十七日其第
一会合ヲ催シ研究討論ノ結果差当リ麦粉ニ対スル輸出手数
料ヲ全免シ又江蘇米ノ現在載積高ヲ調査シ制限ヲ設ケ輸出
セシムベク督軍及省長ニ建議スル一方政府ニ対シテモ夫々
其必要ナル情由ヲ建言スベシト議決シ且ツ孫寶琦ノ如キハ
帰京ノ上十分此貫徹方ニ尽力スベキ旨ヲ声約シタル由ニ有
之又右糧食研究会ナルモノハ当地三井洋行カ有力ナル支那
人ヲ利用シテ發起セシメタルモノノ由ニ有之候

要スルニ條約上ニ迄嚴重ニ制定シアル米穀ノ輸出禁止ヲ全
般ニ亘リ無制限ニ解禁スルコトハ所謂支那ノ國本論民食説

一月十九日附上海糧食研究会ヨリ北京

國務院財政部農商部ニ宛タル電報

江蘇蘇州屬ノ土産ハ惟タ米糧アツテ賦税ハ全国ニ甲タリ連
年ノ豊作ナルモ米穀輸出嚴禁ノ為メ又麦粉ノ輸出ハ重税ノ
為メ蘇州屬ノ土産ハ皆ナ国家ヨリ禁錮セラレタルノ型ナリ
貨物ハ外輸出サレズ貨幣ハ内灌サレズ金融ノ涸渴セル全国絶
無トスル所ナリ蘇民ハ國ノ為メニ特殊ノ納稅義務ヲ尽スニ
国家ハ其糧ヲシテ倉ニ朽チシメ其錢ヲシテ市ニ荒マシメ遊
手不耕作者ノ把持ニ聽カセ甚シキハ且ツ納賄施禁等ノ説ヲ
謡伝シ以テ相脅制シ近眼者流ハ退糶ヲ以テ善政ト為シ蘇人
ノ生計ヲ剝ク金融緊迫シテ百業肅条諸稅減縮ス國計ニ於テ
亦大害ヲ受ク即チ麦粉ノ如キハ每袋ノ手数料二十仙ニテ存
貨山積シ各廠停工シテ究竟スルニ一袋モ外消スル能ハスバ
手数料ノ収入何クニカアル希齡等見聞既ニ確ニ敢テ蘇人ナ
ラサルヲ以テ畛域ヲ分タス国家ノ為メニ一正論ヲ発セン良
等ハ誼桑梓ニ関シ尤モ義黙スルヲ容サス之カ為メニ連署シ
テ所司ニ訓令シ先ツ麦粉ノ手数料ヲ免除セラレンコトヲ請
フ上海ニハ已ニ糧食研究会ヲ組織シ輿論ヲ收集シ並ニ員ヲ
派シテ各屬ニ赴キ存米ノ狀況農商艱苦ヲ調査シテ隨時政府

ニ報告シ有制限ノ解禁ヲ為シ民食商市両方兼顧シテ蘇人ヲシテ独リ国家ノ虐待ヲ蒙ラシムル勿ラシメン麦粉ハ永久ニ手数料免除ハ不敢施行ヲ請ヒ並ニ江蘇督軍省長ニ電訓シテ速ニ存米ヲ疏通シ以テ民困ヲ紓ヘンコトヲ迫切待命ノ至ニ勝ヘス 一月十九日

糧食研究会 馬良 馮煦 熊希齡 朱佩珍 張一鑿 張一鵬 黃炎培 鮑宗漢 洪少圃 沈紹光 任傳榜 龔杰 陶湘 劉樹林 朱煌 楊廷棟 榮宗敬 孟森 荻葆賢 馮叔鸞 沈恩孚 周廷弼 劉垣 顧履 顧桂 榮宗銓 吳兆曾 陳輝德 莊籙聞 漢章 張嘉年 張彝 陸維鏞 丁彥章 陶鳳起 孫振華 王爾准 蔣德寬

五四三

一月二十七日

田中通商局長ヨリ 道家米穀管理部長(農商務省)宛

長江一帶産米ノ対日輸出ニ付張弧財政部次長及曹汝霖内話ニ関シ通報ノ件

通機密送第三三号

本件ニ関シ在支小幡公使ヨリ左記ノ通り電報有之候ニ付不取敢及御通報候条右ハ極秘ノ御取扱ヲ以テ外間等へ御発表

シ意見具申ノ件

支極秘第三六号

本日財政部ヨリ公使館ニ支那政府ハ今後三年間ニ支那米四百五十万石ノ輸出ヲ承諾セントス之カ実施ハ政府ノ指定セル商人ニ購売スヘキ地方数量時期ヲ定メテ指示シ四百五十万石ニ対スル護照料(一弗ヲ一弗四十仙ニ引上)全部ヲ一回若クハ数回ニ分チ前渡ヲ受ケタシトノ契約案ヲ送り来レリ該案ニ関シテ研究ヲ要スル重ナルモノハ若シ地方ノ反対生スル場合政府ハ之レヲ制圧シテ其ノ義務ヲ履行シ得ルヤ並ニ購買不可能ノ場合前渡セシ護照料ハ如何ニ処分セラレヘキヤニアルモ言明スル所ナシ依テ先ツ支那側ノ意嚮ヲ確ムルコト必要ナルモ其ノ実行容易ナラサルヘシ従ツテ從來採り来リタル方法等ニ顧慮スルコトナク遂行スルノ要アリ但シ從來支那米ノ輸出困難ナル原因ハ一ニ政府ノ命令行ハレサルニアルモ其ノ内容ハ一、中央ハ地方ヲシテ輸出セシメ之ニ依リテ護照料ヲ得ントス、二、地方ハ自ラ輸出シテ護照料ヲ其ノ省ニ收入セントス、三、督軍、省議會ハ物価ノ騰貴ヲ恐レテ反对シ、四、日本商人ハ買付スルニ從ヒ米価騰貴シ、之ニ反シ我内地ノ米価下落スルノ危険アルコト

等無之様致度為念此段申添候也

記

大正八年一月二十五日在支小幡公使發電

外務大臣

小幡公使

極秘

財政次長張弧ガ本月二十五日船津ニ語リタル所ニ拠レバ財政部會議ニ於テ長江一帶産米四百五十万担ヲ三年内ニ日本ニ輸出スルコトニ関シ財政部ハ日本政府トノ間ニ契約ヲ締結スル案ヲ決議シ本月二十五日ノ國務院會議ニ右決議案ヲ提出シタルニ各部長何レモ同意シタル趣ナリトノ事ナルニ付更ニ為念曹汝霖ニ確メタルニ事實ナル旨答へ尚ホ本件ハ具体的契約成立迄絶対ニ秘密ニ附スルニ非ザレバ米価ノ騰貴、外間ノ物議等ヲ来タシ不成功ニ終ルベキニ付右様充分含ミ置カレタシト附言シタル趣ナリ因テ本件ハ当分極秘トシ先方ヨリノ開談ヲ待ツコトトシタシ

五四四

一月二十七日

在北京齋藤陸軍中將ヨリ 福田參謀次長宛(電報)

中国政府財政部ヨリ中国米四百五十万石本邦へ輸出並其護照料ニ付日本公使館ニ申出ニ関

等ノ事情アリテ抵制スルニ依ルモノノ如シ従ツテ輸出ノ確實ナルハ安徽督軍ノ如ク自ラ買付直接日本商人ニ売却スルモノ或ハ有力ナル官吏ニ連絡アル支那商人ノ密輸出ヲナスモノ等ナルカ如シ

五四五

一月二十七日

在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

中国米本邦向輸出ニ関スル契約案ヲ財政部賦税司長力船津書記官ニ示シ執照手数料等ニ付内話セルヲ以テ其回答振ニ関シ請訓ノ件

別電

一月二十七日在中国小幡公使發電内田外務大臣宛電

報第一三〇号

中国米本邦向輸出ニ関スル中国政府ノ契約案

第一二九号

往電第一二二二号ニ関シ

一月二十七日財政部賦税司長袁永廉ハ総長ノ命ナリトテ周家彦ヲ同道船津ヲ来訪シ大要別電第一三〇号ノ如キ契約案ヲ示シ右ハ一月二十五日國務會議ノ結果ナルカ支那政府ハ日本ノ米穀欠乏セルヲ聞キ日支親善ヲ増進セントスル見地ヨリ特ニ隣災ヲ救恤センカ為ナルモ同時ニ陰曆年末ニ際シ

現金ヲ要スルコト切ナルヲ以テ米輸出ニ依リ執照下付手数料ヲ得テ当面ノ急ヲ救ハント欲スル次第ナルニ依リ右手数料ハ成ルヘク全部已ムヲ得サレハ一部分ナリトモ前渡ヲ得タシ又米輸出ニ依リ地方ニモ多少ノ利益ヲ与ヘサレハ必ス地方ノ反対ヲ招ク惧アルヲ以テ手数料ヲ幾分高クシテ一弗四十仙トシ右ノ内四十仙丈ハ地方政府ニ分配スル積ナリ明二十八日ノ國務會議ニ報告ノ都合モアルニ付可成速カニ何分ノ義回答ヲ得タシト申出タルヲ以テ船津ハ本件ハ一応本使ニ報告ノ上改メテ何分ノ返事致スヘキモ執照手数料及其諸掛ハ本件決定上最重要ナル關係アルヲ以テ今少シ明確ナル数字ヲ示サレタシト述ヘタルニ袁司長ハ執照手数料ハ前述べ通ニテ其外輸出税釐金税等ノ賦課金ハ合計約五十仙内外即執照料共合計二弗以内ニテ充分ナリト信スル旨答ヘタル趣ナリ(関稅釐金等ハ蕪湖南京上海ヨリ輸出スル場合何レモ大差ナシトノコトナリ)本使ハ本国政府ニ請訓ノ上ナラテハ何等確答出来兼ヌル旨船津ヲシテ一応挨拶セシメ置キタルニ付別電支那側提出契約案篤ト詮議ノ上其回答振ニ関シ至急御回電アリタシ尚執照手数料ハ先ニ三井ハ一弗ヲ納メタル前例モ之アリ今回モ同様トシ地方ヘハ右ノ一弗ノ

ル」トナス

(戊)財政部ヨリ執照ヲ發給シ米一「ピクル」ニ付手数料銀一弗四十仙ヲ徴収ス右手数料ハ全部前渡スルカ或ハ期ヲ分チテ前渡スベシ

(己)財政部ノ發給スル執照ハ分割輸出数量及買入地点決定次第日商ニ下附スベシ日商ハ右執照ヲ持シ指定地点ニ於テ買付ヲナス際各地ニ於ケル釐金関稅等ハ規定ノ通り納付スルモノトス

(七)略ス

(八)本契約ハ特定のモノニテ条約上ノ束縛ヲ受ケザルモノトス又米輸出完了ト共ニ廢棄スルモノトス

(九)本契約ハ日支兩國文ヲ用キ疑義アル場合ハ支那文ニ依ル

五四六 一月二十七日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

中国米本邦向輸出ニ関シ中国政府ヨリ提示ノ

契約案送付ノ件

附屬書 右契約案写

機密第五二号

(二月四日接受)

内ヨリ適宜分配セシムルコトニ一応交渉ヲ試ムルモ差支ナカルヘシ其辺ハ本邦ニ於ケル實際ノ米価ニ準シ斟酌決定ノ上然ルヘク応酬スル外ナカルヘキカト存ス

(別電)

一月二十七日在中国小幡公使宛内田外務大臣宛電報第一三〇号

中国米本邦向輸出ニ関スル中国政府ノ契約案

第一三〇号

財政部ハ日本帝國公使ト米輸出ニ関スル契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

(一)支那政府ハ日商ニ米ノ輸出ヲ特許ス四百五十万「ピクル」ヲ限リトシテ三年ニ分チ輸出セシム其ノ分割輸出數量ハ地方ノ作柄及在荷ノ高ヲ案シ財政部ヨリ隨時商定ス可シ
(二)仕入地点ハ財政部ヨリ隨時指定シ日商人右指定港岸ニ於テ買付ヲナシ其他ノ各地ニ入ルヲ得ズ

(三)財政部ニ於テ分割輸出數量及買入地点ヲ商定シタル上ハ買入地方長官ト予メ(脱)制限價格以上ニ達シタル時ハ當該地方長官ヨリ財政部ニ通牒ノ上輸出ヲ禁止スベシ
(四)輸出米ハ海關ノ規定ニ依リ支那斤百斤ヲ以テ一「ピク

本件ニ関シ一月二十七日支那側ヨリ申出アリタル次第第八往電第一二九号ヲ以テ及報告置候処右支那側提出ノ契約草案写別紙ノ通及送付候間御査閱相成度此段申進候也

(附屬書)

大中華民國財政部与

大日本帝國駐華公使訂立採運米石合同

計開

中国政府現因日本米荒迭次告糶為救恤鄰災增進中日親善起見特通融准日商由中国通商口岸運米出口以次接濟所有運輸額數及完納稅釐征收照費各弁法茲經雙方商定均按本合同内所定各款弁理

第一款

中国政府特准日商運米以四百五十万担為限分三年採運出口其分批採運額數由財政部按年成之豐歉与地方之盈虛隨時酌定

第二款

採運地点由財政部隨時指定日商須按指定之口岸購運不得涉入其他各地

第三款

財政部酌定分批運額暨指定採運地点時得商同採運省分之長官預定一限制價值如市價漲至所限價值以上該省長官知照財政部停止給照申示禁運

第四款

採運米石出口按閩章以華斤一百斤為担無論包裝大小均須按担計算

第五款

日商採運米石由財政部發給執照每米一担收照費大洋元 角此項照費須按合同定額先時交付或分期預繳

第六款

財政部發給運米執照得於酌定分批額數採運地点後隨時知照日商具領至日商持照赴指定地点採運時所有各地厘捐關稅仍應照納

第七款

日商運米至出口海關時應於繳納正稅後將執照呈由海關轉繳財政部註銷不得以一照作為兩用

第八款

本合同係屬特定不受各約章規定之限制一俟運額完竣本合同即行作廢

以上各款係用華文繕就二份彼此簽押作拋每份另配日文訳稿一本如遇有解釈歧異之処仍以華文為主將來應有變更時得由彼此商定修正此合同二份一存財政部一存駐華日使館

(右和訳文)

支那米輸出ニ関スル契約書案

大支那共和国財政部ト大日本帝國駐支公使トノ間ニ左ノ支那米購運契約ヲ締結ス

支那政府ハ日本カ目下米不足シ之カ購入ノ必要アルニ顧ミ隣災ヲ救恤シ日支ノ親善ヲ増進セムカ為メ特ニ日本商人カ支那開港場ヨリ米ヲ輸出シ以テ其必要ニ応セシムルコトヲ承諾ス其輸出數量及稅厘手数料ハ本契約所定ノ各条ニ依ル

第一条支那政府ハ日本商人カ三箇年間ニ米四百五十万担ヲ購入輸出スルコトヲ許ス其分輸數量ハ財政部ニ於テ年ノ豊凶及地方ニ於ケル過不足ノ狀況ニヨリ其都度之ヲ酌定ス
第二条購運地点ハ財政部ニ於テ其都度之ヲ指定スヘシ日本商人ハ指定ノ港ニ於テ購運スヘク指定以外ノ地ニ立入ルヘカラス

本契約書ハ支那文ヲ以テ二通ヲ作成シ双方調印シ日訳文ヲ付ス若シ解釈ヲ異ニシタルトキハ支那文ヲ以テ主トス將來必要アルトキハ双方協議ノ上之カ變更ヲナスコトヲ得本契約書二通ノ内一通ハ財政部ニ一通ハ駐支日本公使館ニ保存スルモノトス

五四七 一月二十八日 在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

日本向輸出米ノ執照手数料ハ一担二付一弗ヲ

堅持シタキ件

第一三五号

往電第一二九号ニ関シ

大村ノ意見ニ依レバ米輸出ニ際シ執照手数料輸出稅釐金稅等諸雜費ノ外ニ地方官憲ニ対シ極メテ秘密ノ手段ヲ以テ一担ニ付約五十仙内外ノ利益ヲ与ヘザレバ到底円滑ニ進行セシムル望ナシ若シ此秘密運動費ヲ加フレバ合計二弗五十仙トナル勘定ナリ然レバ現在ノ相場ナレバ差支ヘ無カルベキモ今少シク騰貴センカ輸出ハ事實上不可能トナル恐アルニ付執照手数料ハ飽ク迄一弗トシ其内ヨリ幾分ヲ地方政府ニ

第三条分輸額及購運地点ヲ定メタルトキハ財政部ハ購運スヘキ各省ノ長官ト協議ノ上一定ノ制限價格ヲ予定シ制限價格以上ニ米価騰貴シタルトキハ当該省長官ハ財政部ニ通知シ執照ノ發給ヲ停止シ禁運スルコトヲ得
第四条輸出米ハ海關規程ニヨリ支那斤百斤ヲ以テ一担トシ包裝ノ大小ヲ論セス担ヲ以テ計算ス
第五条日本商人カ購運スヘキ米ニ対シテハ財政部ヨリ執照ヲ發給シ米一担ニツキ大洋元 角ノ執照料ヲ徴収ス
前項手数料ハ契約定額ニヨリ先納シ又ハ分期予納スヘシ
第六条財政部發給ノ運米執照ハ分輸額及購運地点ヲ定メタル後日本商人ニ通知シ之カ交付ヲナスモノトス日本商人執照ヲ携帯シ指定ノ地点ニ赴キ購運ノ時ニ於テ各地厘稅及關稅ヲ納入スヘシ

第七条日本商人米ヲ運送シテ輸出海關ニ至リ輸出正稅ヲ納メタルトキハ財政部ニ転送シ抹消スル為メ執照ヲ海關ニ提出スヘシ執照ハ再度ノ使用ヲ許サス

第八条本契約ハ特定ニ係リ各条約章程ノ拘束ヲ受ケス所定額ノ輸出ヲ完了シタルトキハ本契約ハ其効力ヲ失フモノトス

分配セシムル様交渉スルコト必要ナラントノコトナリ右為念申進ス

五四八 一月二十八日 在南京清野領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛

江蘇米本邦向輸出ニ関スル交渉経過報告ノ件

南領機密第三号 (二月五日接受)

江蘇米輸出ニ関スル当地ニ於ケル交渉ニ就キテハ屢々電報致シ置キタル次第第二ハ候ヘ共左ニ重複ヲ願ミス其成行ヲ記シ御参考ノタメ玆ニ報告申進候 敬具
写送付先 在支公使、在上海総領事

左記

(一) 往電第三号ノ通り一月八日三井対角田ノ妥協成立セルニ付李純カ本件ノ尽力ト交換ノ意ヲ仄シ居ル購買兵器受入ノ件並ニ本件自体ノ交渉ニ関スル心得方ノ御垂示ヲ電請ニ及ヒタル次第ナルトコロ未ダ右ニ対スル御回訓ニ接セサル同十一日三井ヨリ小官カ正式ニ支那側ニ申込ムニ於テハ直ニ輸出ヲ許可スル都合ニ相成リ居ルニ在京ノ江蘇

タル事後ノコトニテモアリ且又此条件ハ李純ノ意ヲ受ケタル施愚ノ内示ニ係ルモノニシテ支那側ハ出願者ノ続出セル場合ニ之ヲ楯ニ拒絶スヘキ下心ナルヲ以テ此条件ヲ附セサルニ於テハ許可相成ルマシトノコトナリシカ故ニ旁々主要ノ条件ニモアラサレバ愈々ノ場合ニ變更ノ余地ナキニシモアラザルニ鑑ミ右ノ如ク取計ヒタル次第ナリ (右契約案ニ於テ訂正ヲ要スベキ点アルヤ否ヤニ関シテハ在支公使ノ御指図ヲ仰キ置ケリ)

(二) 一月十三日李純ヲ訪問シ其後ノ成行ヲ尋ネタルニ李ハ大略左ノ如ク語レリ

本件ニ関シテハ昨日迄江蘇省選出ノ在京国会議員連(後ニ至リ右ハ参議院議員徐果人外八名ナルコトヲ三井側ヨリ聞知セリ) ヨリノ不許可希望ノ來電三通ニ及ビ且ツ客年省議會ニ於テ米輸出嚴禁方ノ再申請ヲ議決シタルヲ以テ省長ハ民権ヲ尊重スル余リ今尚ホ人民ノ反対ヲ恐レテ決定セサル次第ナルカ省會議員中ニ在リテモ産米地選出議員ハ事情ヲ知悉スルカ故ニ反対スルモノ殆ントアラサルニ願ミルモ此際一、二百万石ヲ貴国ニ輸出スルハ善隣ノ誼上当然ナスベキコトニ属シ又之カタメ当省人民ノ

選出国會議員連ヨリ李純ニ宛テ反対ノ意ヲ表セル電報アリシトノコトナレバ之カタメ李純ノ決心ヲ動かスコトアルニ於テハ九俣ノ功ヲ一簣ニ欠クモノナルヲ以テ一日モ猶予ナリ難キ事情ヲ察セラレ直ニ出状ヲ願ヒタキ旨申出テアリタルニ付尤モナル次第ト思考シ往電第九号ノ通り小官ノ責任ヲ以テ直ニ督軍及省長ニ半公信(官名ヲ記載セス且ツ私印ヲ捺用セリ) ヲ送レリ同信訳文ハ別紙甲号ノ通りナルカ文中「交通及限制弁法」トハ同電報所報ノ十二月末日三井カ施愚ノ手ヲ経テ督軍ニ差出セル別紙乙号訳文ノ願書中記載ノ契約案(一)ノ制限並ニ(二)千九百二年英清改訂条約第十四条ノ第二項第三項ニ基ク七週間ノ猶予ヲ得ルノ權ヲ放棄シタルヲ指スモノナルガ故ニ小官ハ該願書ノ内容ヲ知悉シ居ルコトヲ表明シタル結果トナレル次第ナルトコロ右四十九日ノ規定ハ当国ノ甲開放地ヨリ乙開放地ニ移送スル場合ニ適用セラルルモノニテ本件トハ没交渉ノ事柄ナレバ(三)ノ条件ハ何等ノ不都合モアラザルベシトハ思考セラルルニ反シ(四)ノ条件ニ至リテハ三井ノ独占ト輸出米石数ノ制限ヲ意味スルモノナルニ付聊カ面白カラスト思考セラレタル次第ナルモ既ニ差出シ

迷惑ヲ來サザルベキヲ信セラルルニ付篤ト省長ト相談シ可成速ニ特許方取計フベキニヨリ貴官ヨリモ省長ニ依頼シ置カレ度シ(ト答ヘ二三ノ時局談ヲナシタル後例ノ兵器ノ件ニ関シ其必要ニ迫ラレ居ル事情ヲ縷述シ廢銃ヲ修繕シテ村落地方ノ防備方ニ供シ居ルモ素ヨリ不足ニテ困却シ居ルニ付速カニ受入レ相成ル様尽力ヲ願ヒタシト本件特許ト交換的ノ意思アルモノノ如キ口調ヲ以テ依頼セリ)

(三) 依テ同日直ニ省長ヲ往訪シタルニ省長ハ

無錫ニ於テサヘ三百万石ノ剩余米在リトノコトナレバ此際百万石位ノ輸出ヲ特許スルハ貴我ノタメ利アリテ害ナキヲ信シラルル儀ナルカ如何セン当省民ハ習慣的ニ又迷信的ニ米輸出ノ不可ヲ稱ヘ居リ客年之カタメニ特ニ省議會ニ於テ議決スルトコロアリタルカ如キ始末ナレバ省議會ヲ無視シテ許可シ能ハサルニ付先般右議長ニ相談ニ及ヒタルトコロ議長ニ於テモ閉会中ノ省議會ノ意思ヲ左右トモ表示シ難シトテ施スベキ策モアラサル次第ナルニ就キテハ省議會開會迄(二月下旬) 待ツヨリ外ニ致シ方ナカルベク何レ右議會開會ノ折ハ其通過ニ尽力スベシ云々

ト内話セルモ李純ヨリ省長ニ相談スベントノコトモアリ
シヲ以テ小官ハ貴省長ノ御所見既ニ如此主義ニ於テ御賛
成ナルカラハ何等カノ法ヲ講シテ特許ヲ与ヘララル様御
考慮ヲ願ヒタシト述ベ一応引キトリタリ

(四)右ノ如ク李純カ直ニ特許ヲ与ヘントスルノ意アルニ反シ
省長ハ省議會ノ議ヲ経サル限リ許可ヲ肯セザル意嚮ナル
ニ付右兩人間ニ於ケル協議ノ成行如何ニヨリテハ更ニ省
長ヲ説得スル必要アルベキヲ感シ而シテ省長ヲ説得スル
方法ニ関シテハ右ノ成行ニ鑑ミ予メ之ヲ李純ニ諮リ置ク
ヲ得策ナルベント信シタルヲ以テ別紙丙号訳文ノ通り省
長宛親展ノ私信ヲ作り之ヲ懷ニシテ同月十七日李純ヲ訪
問シ先ツ同人ト省長トノ協議ノ模様ヲ尋ネタルニ李純ハ
実ニ遺憾ナル次第ナリト前置シテ本件ハ素ヨリ民政ノ範
囲内ナレバ省長ノ賛成ヲ得サルベカラサル儀ナルニ付篤
ト自分ノ所見ヲモ面述シタル次第ナリシカ省長ハ客年省
議會ノ決議ヲ憚リテ遂ニ如何トモ許可成シ難シトナシ居
ルニ就キテハ此ノ上ハ中央政府ヨリ特許方ヲ命令スル形
式ニ依ル以外他ニ適當ノ方法モアラサルベント内話アリ
タルヲ以テ小官ハ然ラハ貴督軍ニ於テ右中央ヨリノ発令

況ニ於テハ殆ント無之キニヨリ省議會ノ議ニ附セス緊急
ノ処分ヲ以テ特許スベントノ命令ニ非ル限リ中央政府ヨ
リ発スル本件ノ命令ハ却テ事ヲ破ルナキヲ保シ難キガ故
ニ往電第一四号ヲ以テノ転電ノ通り在支公使ニ電報シタ
ル次第ナリ

(六)別紙甲号訳文ノ拙信ニ対シ一月二十一日ノ夜李純齊耀琳
連名「江蘇督軍」「江蘇省長」ノ官印ヲ捺用シタル書面
ヲ以テ別紙丁号訳文ノ通り遺憾ナカラ尽力致シ難シトノ
旨ヲ回答シ来レルトコロ何レニセヨ此際彼等ヲシテ小官
ニ対シ公式ニ且書面ヲ以テ右ノ如ク言明セシムルハ当地
今後ノ交渉ノミナラス北京ニ於ケル交渉ニモ阻害ヲ及ホ
スベキ恐レアルヲ以テ翌二十二日李純ヲ訪ヘタルニ李純
ハ自分ニ於テハ有無相通スベントノ國際經濟ノ原理特ニ
救災卹隣ノ大義ニ鑑ミ又当地方ノ金融ヲ豊カナラシムル
ノ利益ヲ想ヒ夙ニ賛成シ居ルノミナラス在支公使ヨリ王
克敏ヲ通シテノ依頼モアレバ決シテ此上ノ尽力ヲ致シ難
シトイフニアラズ但タ本省ニ剩余米アリトイフモ又無之
シトイフモ今日ニ於テハ各自勝手ノ推斷ニ過キサルガ曾
テ年々北京ニ送リシ約百万石ノ漕米ハ民国以来其輸送ヲ

方ヲ御取計ヒ相成間敷ヤト問ヒタルニ李純ハ自分ニ於テ
ハ之ヲナスニ便ナラサル事情アルニ付貴方ニ於テ講策セ
ラル様致度ク自分ハ所謂側面ノ尽力者トシテ斡旋スル
ハ本件成立ノ上ヨリ見テ得策ナルベント信セラルト述ヘ
タルニヨリ小官ハ尚此上ノ御配慮ヲ願ヒタシト依頼シ更
ニ前頭省長宛ノ拙信ヲ示シテ其發送ノ可否ヲ尋ネタルニ
李純ハ至極同意ヲ表シタルニ付該信ハ同日直ニ發送セリ
(五)越エテ十八日前日ノ李純ノ内話ニ因ミテ再ヒ省長ヲ訪問
シ中央ヨリ命令アリタル場合ニ於テハ省長ハ何等ノ異議
ナク直ニ特許スベキヤ否ヤニ就キテ尋ネタルニ省長ハ右
ハ命令ノ内容如何ニモ依ル次第ナカラ民国ノ地方官タル
自分トシテハ中央ノ命ヲ尊ハザルベカラザルト同時ニ地
方ノ民意ヲモ重セザルベカラザルガ故ニ若シ如此キ命令
ニ接到シタル場合ハ臨時省議會ヲ開キテ其議ニ附シ而シ
テ其通過ヲ図ルベント答ヘ先般無錫ニ於テ三百万石余ノ
剩余米アリントイヒシハ該地ニ現存セル雜穀ヲモ包括シ
タル穀物總量ノ誤ナリト弁シ約一時間ニ亘リ種々談話ヲ
交換シタルモ遂ニ省議會ノ同意ヲ得ザル限リハ特許シ難
シトノコトナル処省議會ヲ通過シ得ベキ見込ハ現在ノ情

止メタルニ付此一事ニ徴スレハ剩余米アルヲ信セラルル
ヲ以テ之ヲ数字的ニ立証スルタメ調査機關ヲ臨時ニ設ケ
ントモ考ヘ居ル次第ニテ而カモ上海ニ於テハ張騫熊希齡
等ノ組織ニ係ル糧食研究会成リ昨日既ニ其通電ニ接シタ
ルカ如キ情況ナルニヨリ漸次輸出実行ノ氣運ヲ打成シツ
ツアルモノト謂フベク旁々以テ必スシモ絶望スベキ事柄
ニアラスト語リタルニ付小官ハ貴督軍ニ於テ既ニ如此キ
考ヲ有セラルル上ハ必ラス成功スベントイヒ又本件輸出
ハ何等条約ニ抵触スルコトナキ次第ヲ述ヘ斯ルガ故ニ昨
日接到シタル貴信ハ当地ニ於ケル今後ノ協議並ニ現在行
ハレツツアルベント想像セラルル北京ニ於ケル交渉ノ進
行ヲモ妨クル恐レアルニ付暫ク該信ヲ撤回セラレ間敷ヤ
ト申出テタルニ李純ハ之ヲ快諾シタルニヨリ別紙丁号訳
文ノ信書ヲ手交返戻シ置ケリ

因ニ丁号訳文ノ信書ニ於テ条約ニ抵触スルトコロアリト
イヘルハ前頭英清改訂条約第十四条末項ニ「米及他ノ穀
類ハ依然外國ニ輸出スルコトヲ得ス」トアルヲ指セルモ
ノナルベント思考ス

(七)小官ノナシタル對督軍省長ノ交渉ハ大略右ノ如クナルト

コロ茲ニ在支公使及齋藤中將ノ依頼ニヨリ本件支那側ノ真相ヲ探ラシタメニ特ニ來寧セリト稱スル李宣威及同人弟李宣韓ナル者アリテ三井側ニ援助ヲ与ヘ一面新タニ王克敏ヲ以テ省長ヲ動カシ他面施愚ヲ鞭撻シテ李純ヲシテ省長ニ対スル強硬ナル態度ヲ作サシメント務メ居ル次第ナルニ付此方面ノ消息如何ニ願ミル必要アルヲ以テ其後交渉ヲ中止シ居レリ

(甲乙丙丁各号)

甲号

一月十一日附在南京清野事務代理ヨリ江蘇省督軍及省長宛 公文書和訳文

拜啓陳者敝国米穀ノ凶作ニ付客月上海三井洋行ヨリ江蘇米百万石輸出ノ特許方ヲ願出タル趣ニ候処過日御拝顔ノ際談此件ニ及フヤ御賛助ヲ与ヘラルル御意向ナルヲ承ハリ感謝ニ堪ヘス候然ル処今回北京駐在ノ敝国公使ヨリモ本件ヲ可然取計フベシトノ旨電訓有之候ニ就キテハ本件ハ即チ救災郵隣ノ好意表示ニシテ此購運ノ任ニ当ラントスル者モ尋常謀利ノ徒ト趣ヲ異ニシ居レバ志士仁人ノ悦ンテ賛助スベキ事柄ニ有之而シテ貴督軍貴省長カ曩ニ御憂慮セラレタル点

シ期限ヲ一ケ年ト限リ此期限後ハ無効トス

(二)市価玄米一石ニツキ無錫ニテハ七弗上海ニテハ八弗ヲ以テ限度(但シ白米ハ市場ニ於ケル玄米トノ普通値開ヲ加ヘタルモノヲ限度トス)トシ若シ相場此限度ヲ超エタルトキハ敝社ハ買入ヲ中止スベク更ニ相場下落此限度以内ニ達シタル後半月ヲ経過シテ初メテ再ヒ買附ヲ始ムルコト

(三)従来ノ規定ニヨレハ貴政府カ外商ニ許可シタル米ノ輸出ヲ禁止セラレントスル場合ハ禁止令発布ヨリ四十九日後ヲ以テ禁止ノ期限トスレド敝社ハ督軍ノ好意郵隣ノ情ニ対シ特ニ次ノ如キ別法ヲ設ケントス

即督軍ハ一調査委員ヲ派出シ敝社買附米及市価ヲ日々報告セシムルコトトシ若シ相場右制限ニ達シタル場合ハ督軍ハ即日買附ヲ停止セシムルコトヲ得ヘク已ニ買附済ノモノハ一ケ月以内ニ輸出スルコトトシ若シ此一ケ月ヲ経過シテ尚相場下落セサル場合ハ輸出ヲ禁止スルコトヲ得

米ハ無錫ニテ買附ケ上海ニ輸送ノ上汽船ニテ日本ニ輸出スルコトトシ無錫上海間ノ釐金税及上海ニ於ケル輸

ハ該商ガ願出デタル變通及限制弁法ニ抛リテ毫モ障害ナキニ至リタル儀ニ候間常ニ御抱持セラルル日支兩國親善ノ御誠意ニ照シ必然御許可相成ル事ト拝察致サルル次第ニハ候得共何分ノ儀御回示相煩度右得貴意候 敬具

大正八年一月十一日

清野長太郎

李督軍閣下

齊省長閣下

乙号

大正七年十二月三十一日三井物産会社ヨリ江蘇省督軍ニ差出シタル願書和訳文

三井物産株式会社上海支店

米ノ日本向輸出ヲ御許可願度ク茲ニ是ニ伴フ制限及弁法ヲ述ベテ御批准ヲ乞フ

近年敝国ハ米作不良ノ結果穀価ノ暴騰甚タシキニヨリ先般敝政府ヨリ貴政府ニ対シ江蘇米ノ輸出許可ヲ交渉シタルモ當時種々ノ困難ト誤解トノタメ御許可ヲ得ルニ至ラサリキ今当方ノ制限及弁法ヲ申上クレバ

(一)輸出数量ハ玄米又白米百万石(一石司馬秤百五十斤)ト

出税ヲ別トシ外ニ壹石(司馬秤百五十斤)ニツキ一弗ヲ護照費トシテ貴省ニ納入スルヲ以テ上海税関ニ飭知

シテ護照ニ照シテ輸出許可ナル様手配セラルル事

(四)批准ト同時ニ護照費トシテ式拾万弗ヲ支払フ故直ニ式拾万石ニ対スル護照ヲ発給セラレタク此第一回式拾万石ノ輸出終了ノ後ハ各護照ヲ拾万石宛ニ作成発給ヲ願ヒ其都度護照費拾万弗ヲ支払フヘク以後同一方法ニヨル事

(五)敝社ニ輸出許可ノ上ハ一切他人ニ日本向輸出ヲ許可セサルコト但シ兩者買附競争スルトキハ必ス相場ヲ煽リ双方障害ヲ蒙ルハ明白ナレハ也

又敝社カ約束ノ百万石ヲ輸出完了シタル後尚一ケ年内ニ於テ貴省ノ実状尚再ヒ輸出ノ余裕アラハ輸出優先権ヲ敝社ニ与ヘラルルコトニ願ダシ

(六)若シ敝社カ契約条件ニ違背シタル場合ハ違約金トシテ拾万元ヲ支払ヒ且以後護照ヲ発給ヲ停止シ輸出許可ヲ取消サルコトト差支ナシ

右各条項ハ敝社カ至誠商懇スルモノ故願クハ御許可ノ上即日施行ノ運ニ至ル様願度シ

丙号

一月十七日附在南京清野事務代理ヨリ江蘇省省長宛公文書
和訳文

拝啓陳者去ル十三日ハ御多用ニモ拘ラス御面談ヲ賜ハリ候
段感謝ノ至リニ有之更ニ江蘇米敝国輸出之件ニ関スル公明
正大ナル御所見並ニ本件ニ就キ出来得ル限りノ御尽力被下
ベントノ旨ヲ拝承シ一層感謝ノ念ヲ深フシタル次第ニ有之
候查スルニ貴省長ハ無錫ノミニ於テサヘ現在三百万石ノ剩
余米アルニ付此際百万石位ノ輸出ヲ特許セラルルトモ当
省民ノ生活上ニ何等ノ悪影響ヲ及サス而カモ之ガタメ貴我
两国ノ邦交ヲ益々厚カラシムルハ明白ノ儀ナルヲ信セラ
ルモ江蘇省民ハ由来習慣のニ又迷信のニ米輸出ヲ不可トナ
シ殊ニ客年十月十七日当省々議會ニ於テ米ノ移出又ハ輸出
ノ嚴禁取締方ヲ希望スル旨ヲ決議シタルガ故ニ政府ヨリ特
段ナル命令ナキ限り右決議ヲ無視シテ之ガ輸出ヲ特許スル
能ハストセララルハ実ニ民権ヲ尊重スル民国ノ良吏トシテ
一応御尤モナル儀ニ有之感佩措ク能ハサル次第ニ候得共更
ニ退イテ思フニ既ニ貴省長ニ於テ米ノ輸出ヲ不可トスル民
論ハ習慣の迷信ニ過キズシテ数字上ニ根拠ヲ置キタル論議
ニアラズト信セララル上ハ本件ノ特許ヲ与ヘテ貴省長ノ良

齊震巖省長閣下

丁号

一月二十一日夜接受江蘇省督軍及省長ヨリ清野事務代理宛
公文書和訳文

清野長太郎

拝復陳者上海三井洋行ガ江蘇米屯百万石ヲ購運シ度シトノ
件ニ関シ貴翰ノ趣拝承致候貴我两国ノ睦誼ハ素ヨリ薄カラ
サル儀ニ候ニ付本件ニ於テ若シ賛助シ得ベキ事モアラバ勿
論其尽力ヲ辞セサル所存ニハ有之候ヘ共当省ニ於テハ永年
米ノ輸出ヲ禁止シ居リ殊ニ過般省議會開会ノ際其嚴禁ノ再
申請ヲ議決シテ其趣ヲ直ニ申越シタル始末ニ有之事民意機
関ノ議決ニ係ルノミナラス又条約ニモ抵触スルトコロアル
ヲ以テ遺憾ナカラ其尽力ヲ欲シテ猶ホ尽力致シ難キ(愛莫
能助)次第御諒知ノ上三井洋行ニモ御伝達相成候様致度此
段拜答得貴意候 敬具

清野代領事殿

李 純
齊耀琳

心ニ照ラシ何等疾シカラサルノミナラズ誤レル衆愚ノ迷論
ヲ正スハ寧ロ牧民ノ吏ノ責任カトモ被存候況シヤ今回ハ従
来ノ習慣タル輸出禁止ノ命ヲ発セラレタル後四十九日ヲ經
テ始メテ其実行ヲ止ムルトイフニ非スシテ命令一下直ニ輸
出ヲ停止ストノ条件ヲ附シテ許可セラルル儀ナレバ救災卹
隣ノタメニ緊急ノ命令ヲ以テ差当リ之ヲ許可シ後日右ノ次
第ヲ省議會ニ通知シタル時ニ於テ省議會カ飽迄頑迷ニ之ニ
對シテ不同意ヲ唱フル場合ニハ其際禁止ヲ命シテ毫モ差支
無之カ故ニ今日ニ於テ本件ノ特許ヲ附与スルハ何等ノ躊躇
ヲモ要セサル次第ト思考被致候且ツ又英國ノ食料欠之ヲ救
ハンカタメ貴省ヨリ同国ニ輸出スベキ麦粉五拾万袋ニ對シ
テハ最近其免税ヲ特許セラレ英國ニ對シテ充分ナル好意ヲ
表示セラレタル次第モ有之候ニ付此際我カ国ノ米不足ニ對
シテモ同情ヲ表セラルルコト貴我ノ国交上最モ考慮ヲ要ス
ヘキ儀ト被存候ニ就テハ督軍トモ御協議ノ上將又形式上貴
省長ニ對スル中央政府ノ命令必要ナリトセハ右命令ヲ中央
政府ヨリ発スル様御取計ヒノ上可成速カニ御許可相成候様
致度此段御依頼旁得御内意候 敬具

大正八年一月十七日

五四九 一月二十九日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国米本邦向輸出数量ノ件

第一四三号

貴電第一一四号支那米ハ四百五十万担ナリ

五五〇 一月二十九日 道家農商務省臨時米穀管理部長ヨリ
田中通商局長宛

長江一帶産米ヲ本邦へ移出方ニ関スル中国側

提示ノ契約案ニ對シ修正意見回答越ノ件

米管第三六号 (一月二十九日接受)

本月二十八日通機密送第三六号ヲ以テ御申越ノ件了承然ル
ニ從來支那米輸出等ニ經驗アル商人ノ意見ニ依レハ支那官
憲ハ前払金ヲ受ケタル後ハ往々仕入買付等ニ付テ便宜ヲ与
ヘサルノミナラス動モスレハ之ニ関シ生スル種々ノ故障ニ
對シ一顧タモ与ヘサルカ如キ事情モ有之趣ニテ契約案中(中)
(ハ)ノ如ク仕入買付方等ヲ絶対ニ支那官憲ノ措置ニ任スルハ
得策ニ非スト被存候又輸出数量ヲ四百五十万「ピクル」ニ
限り三年ニ別チ云々トアルモ如斯ハ目下我国ノ急需ニ応ス
ルニ足ラス手数料モ公使來電ノ如ク高キニ過クル嫌有之其

ノ他目下三井ヲ経テ陸軍ニテ買入中ノ江蘇米及既ニ小幡公使ノ紹介ニ依リ大倉組ニテ買付中ノ安徽米ハ既ニ協定整ヒタルモノナレハ本契約以外トシテ取扱ハルヘキモノト信スルモ本契約ヨリ除外シテ輸出許可アルヘキ旨一応明確ト為シ置クノ必要有之仍テ契約案ニ付テハ大体左記ノ修正方御取計相成度此段及回答候也

記

- 一 不取敢少クトモ二百五十万「ピクル」(本邦百万石)ノ輸出特許ヲ為スコトトシ其ノ余ニ付テハ追テ協議ノ上決定ノコト
- 二 輸出特許ノ分ハ日本政府ニ於テ事宜ニ依リ商人ヲ指定シ振当ヲ為スコトアルヘシ
- 三 仕入地点其ノ他買入ニ関スル詳細ニ付テハ輸出特許ノ振当ヲ受ケタル商人ト支那当局トニ於テ協定ヲ為スノ余地ヲ存スルコト
- 四 執照料ハ一「ピクル」銀一弗以下トシ前払ノ金額ハ其ノ都度之ヲ協定スルコト
- 五 支那当局ハ買付地方ノ相場ノ暴騰ヲ防止スルニ付相当ノ注意ヲ為スコト

謹啓

旧臘以来支那北京ニ於テ安徽省当局者ト弊社代表者トノ間ニ安徽米ノ日本内地向輸出ニ関シ折衝商議中ノ処此程商議漸ク熟シ安徽当局ヨリ北京政府ノ確実ナル輸出特許ヲ獲ル条件ノ下ニ安徽米拾万担ノ売買契約成立ノ見込相立チ候ニ付不取敢昨日本契約締結方弊社代表者宛電命致置候何レ正式契約調印後内容詳細御報告可仕候得共右契約ハ他商社ノ同省米輸出商談トハ何等衝突スルコトナク又決シテ競争的地位ニ立ツ虞ナキ全然別個ノモノニ属シ候ニ付自然貴省御方針ニ抵触セサルモノト確信罷在候就テハ右契約締結ニ対シ予メ御承認ヲ仰キ置度キト同時ニ今後之カ履行ニ際シ必要ノ場合当局トシテ応分ノ御援助ヲ賜リ完全ニ契約遂行仕度以上事情具申奉懇願候 頓首
大正八年一月二十九日

東京市麴町区八重州町巷丁目壹番地

古河商事株式会社

事務取締役 吉村万治郎

農商務大臣 山本達雄殿

五五二 一月二十九日

井上古河商事常務取締役ヨリ
田中通商局長宛

安徽米本邦向輸出ニ関シ古河商事ヨリ農商務大臣宛書信写提出ノ件

拝啓

陳者昨日ハ御繁多中ノ処御面謁ヲ賜リ種々御高教ヲ忝フシ奉感謝候安徽米弊社輸入契約ニ関シ本日農商務大臣宛別紙提出致置候ニ付写通尊覽ニ供シ候何レ農商務省ヨリ何分ノ御移牒可有之ト存シ候得共今後共可然御配慮ノ程奉希上候

右得貴意度如此ニ御座候

拜具

大正八年一月二十九日

東京市麴町区八重州町巷丁目壹番地

古河商事株式会社

常務取締役 井上定次(印)

外務省通商局長

田中 都吉殿

(別紙)

写

五五二 一月二十九日

金谷天津軍司令官ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

中国政府ノ安徽江蘇米本邦向輸出ニ付天津同

業者成行注意ノ件

支駐第六号

天津米商人ノ言ニ依レハ北京政府カ江蘇、安徽米四百五十万石ヲ日本ニ輸出スルコトヲ決定シ前二省督軍省長ニ同意ヲ求メタルニ在北京江蘇省議員ハ督軍省長宛反對運動ヲナシ居レリ其ノ理由ハ米価ノ騰貴ヲ来シ細民ノ生活難ヲ起スニアリ又上海南京ヨリ当地米穀商ヘノ通報ニ依レハ江蘇省ニ於ケル従業者ノ米輸出ニ対スル意向ハ賛否相半ハシテ決定セス之カ為メ天津同業者ハ成行ニ注意ヲ払ヒツツアリ (斎藤、陸軍大臣、スミ)

五五三 一月三十日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

江蘇米本邦向輸出ニ関シ中央政府トノ契約成行並地方的商談トノ関係ニ付意見回電方訓令ノ件

第一二二号

貴電第一二九号第一三〇号ニ関シ

最近三井へノ入電ニヨレハ貴地三井支店長ヨリ稟請ノ結果
貴官ハ江蘇米百万石ノ輸出許可ニ支持ヲ与ヘラルル趣就テ
ハ其ノ成行回電アリタシ元来仮令貴電御申越ノ如キ契約ヲ
結フモ従来ノ經驗上支那政府ニ於テ確實ニ其ノ義務ヲ履行
シ得ヘキヤ否ヤ甚疑ハシク一方江蘇米安徽米ニツキテハ已
ニ地方的ニ商談進行シ得ル次第ニ付此際支那政府ト不安固
ナル契約談ヲ進行スルニ先チ三井、大倉等実地ニ協定ヲナ
シ得タルモノノ輸出許可ヲ円滑ナラシムルノ手段ヲ講スル
事得策ト認メラルル処此辺ニ関スル貴見併セテ回電アリタ
シ

五五四 一月三十一日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

江蘇米本邦向輸出ニ関シ上海ニテ実物買付ガ

解決策ナル旨上申ノ件

支極秘四二

過日来三井ヲシテ王克敏等ニ關係アル支那人ノ有力ナル者
ヲ南京上海方面ニ派遣セシメ王ヲシテ其ノ懇意ナル江蘇省
長ヲ承諾セシムルコトニ勉メタルモ未タ充分其目的ヲ達ス

ルニ至ラス然レトモ李純ハ輸出ヲ許可セントスル意思ヲ有
シ其顧問施愚ナルモノヲ上京セシメ總統並政府当局者ニ意
見ヲ述ヘシメントシ三井ヨリ派遣セシ一支那人ト共ニ本日
着京ノ筈ナリ由テ此等ノ者ヨリ南方ノ実況ヲ聴キ取り爾後
取ルヘキ方法ヲ確立セントスルモ現在ノ狀況ニ在リテハ上
海方面ニテ江蘇米ノ購買ニ着手スルコト解決ノ為最モ可ナ
リト思考ス詳言スレハ督軍及政府当局ニ關係アル商人ヲ手
引ト為シ実物ヲ買取シ彼等ノ利益ト相結合セシメテ事ノ進
捗ヲ計ラントス目下万騰ヲ上海ニ鈴木ヲ北京ニ高橋ヲ天津
ニ配置シアリ

五五五 二月一日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

江蘇米本邦向輸出ニ関スル財政部提出ノ契約

案ニ対シ日本政府ノ意見開示方稟請ノ件

第一五六号

貴電第一二二号ニ関シ

三井ノ江蘇米百万石輸出ニ対シ本使カ支持ヲ与ヘ居ルハ全
ク御来示ノ通ノ事情ニ基キタルモノニシテ目下江蘇安徽地

上海及南京へ電報セリ

五五六 二月三日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

李純ノ江蘇米本邦向輸出決定ニ関シ報告ノ件

支極秘第四四号

三井ヨリ南京及上海方面ニ派遣シアリシ支那人及李純ノ使
者施愚モ既ニ着京セリ其言ニ依レハ倪嗣冲ガ安徽米ヲ輸出
セハ安徽省ハ財政ノ余裕ヲ得テ遂ニハ江蘇米モ安徽省ニ引
キ取ラレテ輸出セラルルニ至ルヘク江蘇ノ不利此上無シト
ノ王克敏ノ説明ニ依リ李純ハ急ニ輸出ノ決心ヲ為シ施愚ヲ
派遣シ右ニ就キ大總統ノ許可ヲ得ントシ省長モ今ヤ強テ反
對ヲ為サザルガ如シ依テ支極秘第四二号ノ要領ニ依リ此際
一氣呵成的ニ可成速ニ我希望ヲ貫徹セントス徐樹錚モ局外
者ナレトモ可成助力スヘシト云ヘリ

五五七 二月五日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

安徽米本邦向輸出ニ関シ数量護照価格等財政

総長ノ申出ヲ大倉組ニ伝達ノ件

ヲ得タル上ニテ実行ニ取掛ル筈ナレハ本使ノ指摘スルカ如
キ手違ハ万起ラザル考ナリトノコトナリ就テハ愈々協議ヲ
進行スル場合ニハ是等ノ点ニ就テモ充分商議ヲ遂クルノ必
要アルハ勿論ノコトナリト思料ス

第一七九号

二月五日周家彦ハ財政総長ノ命ニ依リ来館安徽米輸出ノ件ハ最初三十万石ノ計画ナリシモ都合上十万担ニ減シ護照手数料ハ一担ニ付一弗トシテ全部財政部ノ収入ニ帰シ價格一担五弗トシ釐金其他ノ諸懸リ一切其中ニ含メシムル事ニ協議決定シタルニ付テハ大倉組代表者ヨリ先ツ護照下附ニ関シ財政部ト打合ヲ了シタル上至急安徽ニ赴キ実行ニ著手スル様可然御電報相成度旨申出アリタルニ付本使ヨリ直ニ其旨当地大倉組代表ヘ伝達シ置ケリ

上海、南京ヘ電報セリ

五五八 二月五日

在北京齋藤陸軍中將ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

中国米日本向輸出ニ関シ在北京陸軍側ノ交渉

目的達成シツツアル件

支極秘第四十七号

米輸出ニ関シ公使ハ正面ヨリ國務總理財政部外交部等ニ督促シ小官ハ三井ヲ指導シテ裏面ヨリ其他靳雲鵬徐樹錚等ニ對シ江蘇督軍ハ輸出ノ決心ヲ為シ省長亦強ヒテ反対セス之

五五九 二月五日

在北京齋藤陸軍中將ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

江蘇省米本邦向輸出ニハ同省督軍省長間意思

疎通必要ニ付其迄個人買付ニハ関係セラレザ

ル様希望ノ件

支極秘第五十号

李純ノ使者施愚ハ当地ニ於テ各方面ト打合セタル上昨日徐總統ニ謁見シタルカ大總統ヨリ督軍ニ命令スルコトハ潜越ニテ面白カラス李純ヨリ輸出ヲ申請セハ直ニ許可スヘシ且現下日本ノ米不足ヲ援助スルノ最モ必要ナル旨ヲ申シ聞ケタル趣ニテ施愚ハ此意ヲ体シ本日癸九日朝南京ニ着スル管ナリ之ニ依リテ見レハ徐樹錚ノ云フ如ク要点ハ結局督軍ト省長間ノ意志ヲ疏通セシムル必要ニ帰着シ徐ハ此点ニ就キ尽力ヲ約セリ從ヒテ遠カラス結果ヲ得ルナラント思考ス又渡辺治衛門ナルモノ上海ニテ江蘇米五万石ヲ買入レ青島ヨリ輸出セントシ之ニ就キ我陸軍省ニ買取方願出タル由又茂木、武井等ノ商人モ各一万石バカリ上海ニテ買入ヲナシツツアリト云フ然レトモ是等ハ皆適當ナル弁法ニアラス且例ノ交渉ニモ影響スルニヨリ上記督軍ト省長トノ落着ヲ見ル

ノ上ハ徐總統及ヒ國務院ヨリ督軍ニ輸出許可ノ一電ヲ発セハ則チ決シ得ヘキヲ以テ陸軍ニ於ケル從來ノ厚誼ニ鑑ミ此ノ際一段ノ尽力ヲ希望スト告ケ靳及徐ハ之ヲ承諾シ徐ハ若シ安徽米ニテ可ナラハ目下三百万石ニテモ直ニ実行シ得ヘク安徽省中ニテモ少数ナカラ良米アリ然シ希望ノ江蘇米ニツキ極力尽力スヘシ唯該省督軍ニ對スル政治上ノ關係ニ於テ稍々面倒アルモ工夫ヲ凝ラシ又李純ト省長間ノ意思ヲ疏通セシメハ目的ヲ達シ得ヘシト云ヘリ

本日外交部ヨリ小幡公使ニ大倉組ノ倪嗣冲ニ願ヒ出テタル安徽米十万石ハ政府ヨリ督軍ニ既ニ許可ノ命令ヲ発シ別ニ江蘇督軍ニモ此際日本ヲ援助スルコトニ努ムヘキヲ訓令シタリトノ通知アリ彼レ是レ對照シテ過日米ノ經過概ネ其目的ヲ達成シツツアリト思考ス

軍事協定ハ本日調印ヲ終レリ小官ハ引続キ以上ノ目的達成ニ努ム中央ヨリ督軍ニ許可ノ命令ヲ発セハ一応上海ニ至リ其実施ノ形況ヲ視察シ且ツ三井トノ契約ヲ纏メ再ヒ北京ニ帰米シ視察ノ結果ニ基キ要スレハ支那側ニ希望ヲ述ヘ且ツ謝意ヲ表シタル上帰朝セントス右御承認ヲ乞フ

マテ一切關係セラレザランコトヲ希望ス

五六〇 二月七日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

江蘇米本邦向輸出ニ関シ大總統施愚会谈及財

政部秘書及船津書記官間会谈ニ付通報ノ件

本官発南京宛第八号

二月六日大村ノ報告ニ依レバ施愚ハ昨日大總統ニ謁見シ江蘇米輸出ノ必要ヲ説キタル処大總統ハ元來何等異存ナキモ本件ハ地方官ヨリノ稟請ヲ待チテ許可スルノ形式ニセラレタル方得策ナリトノ意見ニテ先ヅ江蘇督軍ヨリ何分ノ稟請ヲ為サシムル様協議スル為氏ハ六日出発南下セリトノ事ナリ一面最近迄財政部秘書タリシ周家彦(本件ニハ今以テ關係シ居レリ)ノ船津ニ語リタル処ニ抛レバ過日李督軍ヨリ米輸出ハ賛成スル処ナルモ其実行上ニ関シ種々困難ナル事情アリトテ之ヲ列挙シテ陳情ノ次第アリタルニ對シ國務院ヨリ右困難ノ事情ハ少シモ顧慮スルニ足ラザルモノナリトテ縷々説明ヲ与ヘ且今回ノ米輸出ハ全ク善隣ノ厚誼ニ基キ隣邦ノ米穀不足ヲ救済スル為ニ外ナラザレバ必ズ最十分尽力アリタキ旨督軍ヘ電訓シタル趣ナリト言フ

外務大臣へ電報セリ 上海へ暗号ノ儘郵送アリ度シ

五六一 二月七日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

江蘇米本邦向輸出許可ニ関シ財政部ヨリ江蘇
省長及督軍宛訓令内容通報ノ件

第一九四号

本官発南京宛電報

第九号

往電第八号ニ関シ

其後財政部ヨリモ更ニ二月六日附ヲ以テ大要左ノ通り江蘇
省長及督軍へ訓令ヲ発シタル由

左記

省長ヨリ当五日附電報委細承知日本米作凶歉ノ為輸出ヲ
許可セントスルハ全ク天災ヲ救恤セントノ趣旨ニ出デ通
常ノ解禁ト同ジカラズ目下商議中ノ条件ハ已ニ省長宛五
日附電報内ニ詳述セル通ナリ中日ノ関係ヨリ論ズルモ嘗
我國天災アリシ際日本ハ巨額ノ義捐金ヲ送りテ援助ヲ与
ヘラレタルコトアリ今回先方ニテ救済ヲ渴望シ居ル以上

懸念セラルル処右記事ハ本省ニ於テ発表セラレタル次第ニ
之ナク(脱)右如何ナル径路ニテ洩レタルモノナリヤ将来
ノ参考ノ為御取調ノ結果電報アリ度シ。(九日)

(附記)

大正八年二月一日時事新報

支那米解禁条件

北京政府新提議を為す

支那米解禁に就ては支那農商部は曩に日本政府の希望を容
れ江蘇省無錫に於ける米一百万石を限り日本に輸出するに
決し同案を國務院に廻附し國務院は之を國務會議に上程せ
し事既報の如くなるが其後國務員中之に反対するものあり
結局國務會議は(一)支那政府は日本政府の希望せる支那米の
一部解禁は主義に於て承諾す(二)但し米の輸出は一時的のも
のとせず本年より三箇年に亘る繼續事業とする事(三)右支那
米対日輸出高は毎年約一百万石見当とし主として江蘇
省産出米を以て之に充つる事(四)右輸出米に対し支那政府は
一石に付銀一元の輸出税を課す(五)支那政府は右輸出税三箇
年の収入を担保とし日本より金五百万円の借款を為す事而
して日本政府が此条件を容るるに於ては支那政府は直に江

当然法ヲ設ケテ通有以テ友誼ヲ敦クスベキナリ五日附貴
電内臨時省議會ヲ召集スルノ件ハ徒ラニ時日ヲ遷延スル
ノ虞アルノミナラズ日本公使ヨリノ督促モ切ナルニ付テ
ハ此ノ際省議會議長ニ一切ノ情況ヲ詳細通告セラレ以テ
速ニ決定アランコトヲ請フ尚何分ノ返電アリタシ

上海へ暗号ノ儘郵送シ外務大臣へ電報セリ

五六二 二月九日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

江蘇米四百五十万担本邦向輸出中国政府申出

ニ関スル時事新報ノ報道ノ出所ニ付問合ノ件

附記 右ニ関スル二月一日附時事新報記事

第二〇八号

(二月十一日接受)

往電第一二二二号江蘇米四百五十万「ピクル」輸出ニ関ス
ル支那政府申出ノ件ハ特ニ当分極秘ニ附セラレ度キ旨申進
シ置キタル処二月一日ノ時事新報ニ本件ニ関スル記事之ア
リ右ニ依レバ一見直ニ北京政府ニ於テ政費ニ流用セントス
ル魂胆ナルガ如ク認メラレ必ズヤ南方派ノ反対ヲ惹起シ或
ハ支那米輸出ノ計画ヲ根底ヨリ破壊セシムルニ至ラズヤト

蘇米の解禁を実行する事に決し其旨最近北京駐劄帝國公使
館へ照会し来れり然るに帝國政府が先頃来支那政府に要求
しつつあるは現に江蘇省無錫に停滯せる米の輸出にあり支
那政府が今後三箇年引続き米の解禁を行ふは帝國の希望す
る所なるも輸出税を見越しての借款に應ずるには今後三箇
年内に江蘇省民の反対起らざるや又中部支那の米産引続き
好況にあるべきや等の事情を先づ考慮せざるべからず旁帝
國政府は支那政府の新提議に対し未だ回答を發するに至ら
ずと

五六三 二月十一日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ
上原参謀総長宛(電報)

江蘇米本邦向輸出許可手間取ル見込ニ付先ツ

現物買付断行得策ナル旨意見具申ノ件

支極秘第五十五号

昨日当地三井着電ニ依レハ李純ノ使者施愚南京ヨリ帰着シ
昨九日在上海三井派遣員ニ李純ノ意嚮ヲ告ケテ曰ク
一、李純ハ今日ノ場合米輸出ノ意嚮ヲ有スルモ曩ニ省長ト
共ニ政府ニ輸出反対ヲ電報セシコトアリ故ニ自分ヨリ輸

出ヲ請求スルニハ別ニ理由ヲ附スルノ要アリ

二、近時日支外交問題ニ関シ輿論喧シキ故ニ米輸出ハ暫ク延期シタシ

三、輸出ノ場合護照手数料ハ是非共江蘇省ノ収入タルヲ要スト

以上ノ電報中一ハ始メテ聞ク所ナリ然シ何等カ融通ノ方法アルヘク三モ亦然リ唯二ノ点ニ関シテハ時機稍々面倒ナリト思考ス又昨夜徐樹錚ノ言ニ依レハ輸出ノ障碍ハ省長ニ非シテ寧ロ李純ニアリ依テ彼ヲ説得スヘク今十日人ヲ南京ニ派遣セリ十四日頃迄ニハ其報告ヲ得ルナラントノ徐ノ言右打電ニ対照シ事実ナリト思考ス

小官ハ此ノ際徒ニ交渉ニ時日ヲ費スヨリモ先ツ買付ヲ為シ現物ヲ手ニ入レタル後之カ輸出ニ関シ政府及督軍ニ交渉スルヲ以テ捷路ナリト信スルノミナラス空シク時機ヲ逸セハ江蘇ノ剩余米ハ四方ニ分散スルノ恐アリト思考ス且ツ上海三井ハ今尚買付ニ着手シアラサル模様ナルニ依リ小官ハ至急上海ニ到リ三井ヲ指導セントシ昨日徐ニ之ヲ告ケタルニ徐ハ南京ニ派遣シタル使者ノ報告ヲ得ル迄出発ヲ見合ハサレンコトヲ希望シ且ツ飽ク迄尽力スヘント言ヘリ依テ小官

二〇号所報王克敏ノ談話トモ符合シ且本件ノ為メナルヤ否ヤハ不明ナルモ二月二十六日ヨリ省議會開カルル由ナルニ付テハ何レニセヨ急速ニ右排日熱勃興ノ原因タル誤解ヲ除去シ本件ヲ取極メル必要アルヲ以テ王克敏ニ対シ書状ヲ以テ同事件ノ内容ヲ説明致シタル次第ナルガ此際北京政府ヨリ当省督軍省長ニ対シ閣下ガ当国外交ノ自由制限ノ干渉ヲ試ミラレタリトハ無根ノ流言ナルコトヲ証スル一方法トシテ速ニ米輸出ノ許可ヲ為スヘキ旨電命スル様取計ハルルコトヲ得ハ右二件ノ為メ好都合ナルベント思考ス御参考迄ニ卑見申添フ

外務大臣へ電報シ上海へ暗号ノ儘郵送セリ

五六五 二月十三日 在南京清野領事館事務代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

江蘇米対日輸出ニ関シ江蘇省議會反对ノ懸念アルニ付対策稟申ノ件

第二八号

本官発在支公使宛電報第二九号

江蘇米輸出ニ関スル成行ハ往電第二八号末段ノ通ナル処目

ハ該報告ノ到着スル迄出発ヲ見合ハセ若シ尚要領ヲ得サルニ於テハ支那政府ノ了解ヲ得テ上海ニテ至急買付ニ着手セントス

右貴地三井本店ニモ指示シ置カレタシ

五六四 二月十二日 在南京清野領事館事務代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

江蘇米対日輸出許可上海方面排日ノ為延期トナレル趣ニ付対策具申ノ件

第二四号

本官発在支公使宛電報第三四号

江蘇米輸出ニ関シ三井側ノ報告ニ依レバ北京政府ヨリ電訓アリシノミナラズ施愚ガ大總統ノ意思ヲ伝ヘ尚王克敏等ト協力シテ利害ヲ説キタル結果督軍省長ノ折合付キ許可スルコトニ内定シ契約調印ノ期日等ヲモ打合サントスル迄ニ進捗セル折柄閣下ガ当国外交ノ自由制限ノ干渉ヲ試ミラレタリトノ流言ニ基ク上海方面ノ排日熱ノ勃興ニ関スル報告頻々トシテ到来セル為メ李純ハ暫ク状況ヲ見ル必要アリトシテ又復延期スルコトナレリトノ趣ナル処右ハ往電第

下省議會長ハ李純ノ意ヲ受ケ反对議員ノ説得ニ努メ居ルガ其通過ハ頗ル懸念セラルルガ故該議會ノ開催ハ免レザル以上ハ其開會以前ニ一件ノ許可ヲ与ヘ該會議ニ於テハ右ノ追認方ヲ議セシムル様督軍省長ヲシテ取計ハシムル方針ヲ以テ努力スル要アルベント思考セラルルニ付テハ是非貴地三井ヲ督促シ(不明)

尚御所見ハ小官心得迄ニ電報アリタシ

上海へ暗号ノ儘郵報セリ

五六六 二月十四日 内田外務大臣ヨリ 在中国小幡公使宛(電報)

中国米四百五十万担対日輸出ニ関シ契約案改正及契約締結方法ニ付訓令ノ件

第一九五号

貴電第一三〇号及第一五六号ニ関シ契約案ノ通四百五十万担ヲ三年ニ分チ輸出スルカ如キハ我国目下ノ急需ニ応スルニ足ラス護照料モ貴見ノ通高キニ過クル嫌アルノミナラス契約案ニ及三ノ如ク仕入買付等ヲ支那官憲ノ措置ニ一任スルハ得策ナラサルニ付右契約案ハ(一)不取敢少クトモ二百五

十萬「ピクル」(本邦百万石)ノ輸出ヲ特許シ其ノ余ニ付テハ追テ協議ノ上決定スルコト(二)輸出特許ノ分ハ時宜ニ依リ日本政府ニ於テ商人ヲ指定シ振當ヲ為スコトアルヘキコト(三)仕入地其他買入ニ関スル巨細ノ点ニ付テハ輸出特許ノ振當ヲ受ケタル商人ト支那當局ト協定ヲ為スノ余地ヲ存スルコト(四)執照料ハ一「ピクル」銀一弗以下トシ前払ノ金額ハ其ノ都度協定スルコト(五)支那當局ハ買付地方ノ相場暴騰ヲ防止スル為メ相當ノ手段ヲ講スルコトノ趣旨ニヨリ改正ヲ加フルコトト致度ク猶三井及大倉ノ現ニ協議中ノ分ハ本取極ヨリ除外シ其ノ協議ノ成立及貴電第一五六号末段支那政府ト地方督軍省長間協議成立ノ上ニテ本契約ヲ締結スルコトト致シ度シ元來中央政府カ本件契約ノ成立ヲ急キ居ルハ貴見ノ通現金調達ノ必要ト三井大倉ノ分ノ護照料ノ大部分カ地方當局ニ歸スルヲ防止セントスルニ存スルヤニ察セラルル処若シ右協議進行中ノ分ニシテ本件契約案ノ輸出量中ニ包含セラルルコトトモナラハ地方當局ハ却テ右輸出特許ニ伴フ利益ノ大部分ヲ中央政府ニ奪ハルルコトトナルヘキヲ以テ少クトモ江蘇省地方當局ハ本件契約ノ成立ヲ喜ハサルノ事情アルヘク旁三井大倉ノ分ハ此際速カニ成立セシ

メテ少クトモ其分ノ利益ノ大部分ヲ地方ニ与ヘ其後ノ分ハ本件契約ヲ適用シ先方ヲシテ利益ヲ適當分配セシムルコトトセハ中央地方双方ノ利益トナルヘク右ハ畜ニ我方焦眉ノ急ニ応スル為メ必要ナルノミナラス契約実行ニ対スル地方當局後日ノ異議ヲ防止スルノ利益アリト思考セラルルニ付右ノ御含ヲ以テ可然御措置相成度シ

五六七 二月十四日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ 福田參謀次長宛(電報)

江蘇米対日輸出促進ニ付徐樹錚ノ内話及右ニ関シ執リタル措置ニ付報告ノ件

支極秘五九

本日徐樹錚來訪昨日国防會議員ヲ南京ニ派シ省長ニ交渉セシメタル結果省長ハ先ツ支那柁ニテ百万石ヲ限り輸出スヘキヲ承諾シ之カ為近ク臨時省議會ヲ召集シ可決セシム可ク約セリ右ハ必ス執行シ得ヘキヲ信ス又本件ハ龔財政總長トモ篤ト打合せ済ナルモ自分(徐)ノ名儀ヲ出スコトハ殊ニ江蘇省ニ於テ反對者多ク面白カラサルニ依リ何レノ方面ニ對シテモ絶対ニ之ヲ出サス表面ハ公使ヨリ龔財政總長ニ江

蘇米輸出承認ヲ督促セラレタシト述ヘタリ依テ小官ハ

一、省議會操縦ノタメ運動費ヲ要セサルヤ

二、省議會ニテ輸出案通過セハ米価ハ必ス騰貴スヘキニ依リ小官ハ一兩日内ニ当地發上海ニ微行シ三井ヲシテ米買付ヲ為サシメントス実行シテ差支無キヤト問タルニ徐ハ一、省議員ニ運動費ヲ給スルコトハ悪弊ヲ助長スル虞アルニ依リ之ヲ要セス万一臨機ノ処置ヲ要スルコトアレハ別問題ナルモ万省省長ニ一任スルヲ可トス省長ハ既ニ多年江蘇ニ在勤スルモノナル故省議會ヲ容易ニ操縦シ得ヘキヲ信ス若シ反對ヲ受クル省長ナレハ既ニ今日迄在勤スル能ハス

二、三井ノ米買付ハ極メテ秘密ニ実行シテ差支ナシ但シ秘密ノ裏ニ行ハサレハ或ハ意外ノ出来事ヲ生スヘキヲ恐ル要スルニ此際小幡公使ヨリノ請求ニ依リ財政總長ハ省長ニ督促シ地方ノ事ハ督軍省長ニ一任シ三井ヨリ督軍省長ニ運動スルコトモ見合セ上海三井ノ買付ヲ為スコトハ実行シテ差支ナシト云ヘリ

依テ小官ハ之ヲ小幡公使ニ告ケ公使モ同意シ且財政部ニ督促スルコトニ取計ヒ又大村及本日上海ヨリ歸來シタル三

井店員吉富ヲ招致シ上海支店ニ極秘ニテ早速買付ヲ開始スヘク打電セシメ一切徐ノ名義ハ電報ニ記載スヘカラスト命シタリ小官ノ上海行キハ兎角注目ヲ引クニ依リ暫ク延期センコトヲ大村等ヨリ希望セルニ依リ之ヲ容レ徐樹錚ニハ買付命令ヲ發シタルコトヲ取敢ス通知シ置キタリ以上徐ノ尽力モ大ニ多トセサルヲ得ス小官モ效ニ根拠ヲ得タルニ付三井ニテ買付ケタル米ハ必輸出セシムヘキヲ信ス徐ノ是ニ尽力シアル事ハ当分何レニモ秘密ニ付セラレタシ

支極秘号外五一(不明)ノ意見ハ採用セサルコトニセリ

五六八 二月十四日 在蘇州大和久領事館事務代理ヨリ 内田外務大臣宛

江蘇米対日輸出ニ関シ蘇州新聞論說並之ニ對スル督軍省長ノ訓示ニ関スル件

公第二一号 (二月二十四日接受)

大正八年二月十四日

在蘇州

領事館事務代理 大和久義郎(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

近来当地支那新聞ノ報道ニ依レハ日支兩國政府交渉ノ結果日本ノ食糧不足ヲ補ハン為メ江蘇米ノ輸出禁止ノ制度ヲ緩メ一時限りノ取計トシテ三ヶ年間ニ四百五十万石ヲ本邦ニ輸出解禁スルコトニ決シタリト云フ右ニ関シ当地人ハ端ナクモ反对熱ヲ惹起シ支那流ノ論鋒ヲ以テ盛ニ新聞紙上ニ反对シ新聞社又社説ヲ以テ雷同反对致居リ候彼等ノ反对ノ要旨ハ一、三ヶ年間ニ四百五十万石一ヶ年二百五十万石ヲ輸出スルハ其額サシテ大ナラサルモ輸出禁制ノ例ヲ破ルハ將來再ヒ種々ノ口実ノ下ニ必ス日本側ヨリ輸出ヲ迫ラルベシ即チ一時ノ解禁ハ惡例ヲ貽スモノナリニ、縦シ一ヶ年二百五十万石ト云ヘ右ハ表面ノ額ニテ必ス奸商其間ニ飛躍シテ密輸出行ハレ意外ノ輸出額ヲ見ルニ至ルヘシ三、サスレハ米価騰貴シテ一般ノ物価ヲ高メ支那人ノ生計ヲ困難ナラシムルニ至ルヘシ殊ニ貧民衣食ニ窮セハ暴動ヲ起サヤモ計ラレス四、縦シ日本ニ米ノ輸出ヲ許スハ止ムヲ得サル事情アリトスルモ時機當ヲ得ス支那ハ近年政變動亂絶エサルヲ以テ国基未タ定マラス此際米価ノ騰貴ハ危険ナルヲ以テ輸出ハ暫ク国内ノ紛騒定マルヲ待ツテ決行スヘシ五、今回輸出

解禁ノ動機ハ上海食糧研究会カ地方ニ保存セル倉米ニ限り輸出スルハ住民ノ食糧ニ不足ヲ来ス虞ナク然モ米価騰貴ハ農民ノ富力ヲ増進シ其結果未墾地ノ開拓ヲ来シ利アリテ弊ナシトノ報告ニ基ケル趣ナルモ該会ハ日本側ヨリ莫大ノ運費ヲ得己ヲ欺キテ我ヲ売ルノ類信スルニ足ラス農民中地主ニシテ小作人ハナリ小作人ハ之ニ依リ衣食シテ売出ノ余力ナク然モ物価騰貴ハ生計ニ困難ヲ来スヲ以テ僅カニノ地主ヲ肥シハノ小作人ヲ犠牲ニスルハ謂ハレナキノ理ナリ云々右ニ対シ江蘇督軍省長ハ訓令ヲ發シ抑モ江蘇米ノ輸出禁止ニ付テハ省議會ニ於テ一致決議セル次第ナルモ上海食糧研究会ニ於テ地方存米ヲ制限的ニ輸出スルハ有利無弊ノ次第稟報セル事情ニ基キ今回各地方ニ委員ヲ派シ存米ノ額ヲ調査シ制限的ニ輸出解禁スルノ果シテ如何ナル影響ヲ地方住民ニ及ホスベキヤヲ確メ然ル後決行スル旨ヲ声明致居リ候要スルニ彼等反对者ノ意見ハ米穀輸出ノ利弊ヲ深く研究スルニ至ラス只旧来ノ習慣ニ捕ハレ米ノ輸出ハ米価ヲ高メ從テ生計ニ困難ヲ来スヘシトノ單純ナル思想ニ出テ愚民附和雷同シ中ニハ又元來好マシカラサル隣強ヲ助クルハ何トナク不快ナリトノ嫉妬的精神ヲ以テ反对スル者モ有之善

隣ノ友誼ヲ以テ同情アル態度ニ出ツル者毫モ認メラレサルハ遺憾ニ被存候御参考迄此段具報申進候 敬具
本信写送附先 在支公使

五六九 二月十六日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ 福田參謀次長宛(電報)

上海ニ於テ極秘裡ニ江蘇米二十万石買付ニ関スル件

支極秘第六五号

速ニ先ツ二十万石ヲ極メテ秘密ニ購買スヘク上海三井ニ命シ江蘇議會ハ来ル二十八日開会スヘク百万石輸出案ハ無論通過スル筈尙万々一否決ノ場合其際ハ支那陸軍用トシテ北方ニ輸送スヘク内々徐樹錚トノ間ニ協議シアリ但シ以上ハ——今モ極秘ナレハ(ルキサニ)ニ示サレサル様切望ス

五七〇 二月十六日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ 福田參謀次長宛(電報)

江蘇米対日輸出ニ付同省議會ニ対スル措置ニ関スル件

支極秘第六六号

七 中国米輸入交渉ニ関スル件 五六九 五七〇 五七一

米問題解決遷延恐縮ニ耐ヘス「コンミツション」ハ決シテ惜マサルノ決心ヲ為シ居リ省議會ニ運動セシメサル事ハ或ハ期待ニ反スル結果ヲ齎ラス動機ヲ与フルノ虞アルニ依リ財政総長ヨリ省長ニ交渉セシメ省長カ省議會ヲシテ百万石輸出案ヲ通過セシムルコトヲ承諾シタル事実(支極秘第五九号参照)ニ信賴シアル次第ナリ要スルニ最善ノ努力ヲ為シツツアリ支極秘第六五号ノ如ク差当リ買付ニ著手セシムヘク上海三井ニ命シアリ

五七一 二月十八日 内田外務大臣ヨリ 在中国小幡公使宛(電報)

本邦向江蘇米ニ関シ省長ガ省議會ノ決議ヲ待タズ右輸出許可ヲ与フル様中央政府ニ交渉セラレ度旨訓令ノ件

第二二八号

貴電第一九四号ニ関シ在南京帝國領事館事務代理發貴官宛電報第三〇号ニ依レハ省長ハ本件ヲ省議會ノ議ニ附シ以テ其ノ責任ヲ回避セントスル下心ナルヤニ察セラルル処同議會力曩ニ二回迄モ反对決議ヲ為シタルコトアリ其後事態稍

ヤ變更シタリトハ云へ此際議會ヲシテ前議ヲ翻サシムルノ望ミ少ナク愈々反対決議トモナラハ江蘇米本邦輸出ハ到底見込ナキニ至ルヘク又仮令議會ノ反対ナントスルモ今後本邦向米輸出ノ決定カ常ニ省議會ノ決議ヲ要スルノ先例ト為リ今後統々同省米ノ本邦輸出ヲ要スル矢先甚タ面白カラサル結果ヲ生スヘシト思考セラルルニヨリ此際省長ヲシテ議會ノ決議ヲ待タス右輸出ヲ許可セシメタル上議長ニ其ノ事情ヲ通告セシムル様致度ニ付右ノ趣旨ニヨリ支那政府ヲシテ省長ニ訓令セシムル様極力御尽力相成度シ
本電信南京へ転電アレ

五七二 二月十八日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

江蘇省督軍及省長ノ江蘇米対日輸出承認ニ付

靳雲鵬東少將ニ内話ノ件

支極秘第六八号

小官ノ命ニ依リ江蘇米買付ハ昨十七日ヨリ極秘ノ手段ニ依リ実施ニ著手セシ旨万膳主計正ヨリ報告シ来ル
去ル十五日東少將靳雲鵬ニ面会ノ際靳ハ左ノ通り小官ニ伝

天津司令部ノ米購買状況報告並意見稟申ノ件

支極秘第七四号

天津軍司令部ニテ購買米ノ件概シテ順境ニ進捗シ本月末迄ニハ約三、四万石ヲ買収シ得ルノミナラス既ニ解氷期ニ至リタルニ依リ三月初ニ至レハ其数量ハ予定シ難キモ稍々多量ノ米同地ニ蒐マルヘキ見込アリ故ニ内地ノ需用ノ不足ナル今日既ニ命令ノ数量以外ニ買収ヲ命セラルルヲ可トセン

五七四 二月二十一日 在南京清野領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

江蘇米対日輸出ニ関シ高田商会ヨリノ願出ニ

対スル措置ニ付請訓ノ件

第三二号

本官発在支公使宛電報第三四号

二月二十日高田商会上海支店社長来館シ今回同商会ハ陸軍省ヨリ江蘇米ヲ青島又ハ大連ニ輸送スベキ命ヲ受ケ目下運動中ニ付武器供給ノ許可有リタル場合ニハ其供給ノ交換トシテ右特許方ヲ陸軍ニ申入有リタシトノ旨申出タリ依ツテ小官ハ本件ハ三井ニ於テ過般陸軍側ト相計リ極力講策中ナル

言セシコトヲ依頼セリ

一江蘇省議會カ曩ニ米輸出禁止ノ決議ヲ為セシハ米商人等カ己ヲ利セシカ為メ猥リニ限リナク輸出シ為メニ米騰貴シ省民ノ生活難ヲ来スニ依リ之ヲ禁止シタルモノニシテ剩余米ヲ以テ日本ノ米不足ヲ救助スルコトハ全ク其意義ヲ異ニス依テ先ツ百万石ヲ限リ日本ニ救助セントス
二前清時代ニハ江蘇ヨリ毎年八十万石ヲ北京ニ貢キタリシカ今ハ之ヲ送ラス故ニ此剩余米ハ当然日本ノ救助ニ充ツルコトヲ得テ容易ニ親善ノ厚誼ヲ尽スコトヲ得ヘシ
以上二箇ノ極メテ明確ナル理由ヲ以テ財政総長ヨリ江蘇督軍及省長ニ交渉シタル結果兩人等ハ之ヲ承認シ臨時ニ省議會ヲ召集シテ之ヲ解決スルコトナレリト

依テ小官ハ昨日靳雲鵬ニ面会シ閣下ヨリ特ニ謝電到来シタル由ヲ述ヘ尚一層ノ尽力ヲ乞ヒ且解決ニ関スル見込ヲ確メタルニ靳ハ財政総長ハ多分故障ナク解決スルナラント述ヘシコトヲ答ヘ尚十八日ノ閣議ニ於テ可成速ニ解決スル様財政総長ニ交渉スヘシト云ヘリ

五七三 二月二十日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ
上原參謀次長宛(電報)

ニ付他ノ邦商ニシテ同目的ノ運動ヲ試ムルモノ有ルニ於テハ益々事態ヲ紛糾セシムルヲ以テ上司ヨリ特別ノ訓令有ラザル限りハ其希望ニ応ジ(脱)何分ノ心得方御垂示ヲ仰ギタシ
大臣へ電報シ上海へ暗号ノ儘郵報セリ

五七五 二月二十二日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

江蘇米対日輸出ニ関シ省議會ノ動向及三井ノ

米買入情況報告ノ件

支極秘第七九号

上海三井ヨリ軍事協定ニヨル輸出ヲ強制セハ「ポイコツト」ヲ起スヘシト東京本店ニ電報シタル由ナルカ目下前電ノ通り其実未タ憂慮スルニ及ハス又省議會ニ対シテモ神經過敏ナルカ如シ然ルニ該議會ニ対スル運動ニツイテモ省長及督軍ノ手ヲ經ルモノニアラサレハ其効果確実ナラスト思考ス故ニ万事此ノ方針ヲ以テ宰領シツツアリ此ノコトハ三井大村ニモ篤ト申聞ケ同人モ充分了解シアリ万省議會ニテ否決ノ運命ニ遭遇スルモ從ツテ他ニ便法アリト信ス其辺

了承アリタシ上海ノ情況ハ日々三井或ハ万膳ノ電報ニテ承知シアリ猶上海三井電ニ依レハ去ル十九日試ニ無錫ニテ玄米二百石粳米二千八百石買入レ品質其他良好ニシテ引続キ購買中ナリ

五七六 二月二十二日

在北京齋藤陸軍中将ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

江蘇米対日輸出ニ関シ高田商会久原等其實付

ニ陸軍ノ援助ヲ得度旨申出ニ付意見稟申ノ件

支極秘八〇号

近頃高田商会ハ陸軍省ノ命ニ依リ江蘇米ノ買付ヲナスト称シ又久原ハ昨年来江蘇米買付ヲナサントシ支那側ト充分了解アルニ依リ此際陸軍ノ援助ヲ受ケ度シト申シ出テ其他ニモ種々申来ルモノアリテ其信用ヲ質セハ何レモ支那側ト確實ナル連絡ナク近來江蘇米買付ヲ三井ニ取扱ハシメアルヲ聞知シ自己モ亦何等カノ利得ヲ計ラントシ支那側ト交渉スルモ事ノ容易ナラサルコトヲ自覚シ茲ニ我後援ヲ得ントシテ運動シ来ルモノタルニ過キス之等ニ対シテハ感情ヲ害シ却テ妨害ヲナス如キコトナカラシムル為適當ニ申聞カセア

リ多分貴方ニモ之ト類似ノモノ少カラスト察セラル万一何等カノ言質ヲ与ヘラルル時ハ結極現ニ実行シアル計画ニ支障ヲ生スルノ外得ル所ナキヲ以テ其辺了承アリタシ

五七七 二月二十六日

在北京齋藤陸軍中将ヨリ
上原參謀次長宛(電報)

江蘇米対日輸出ニ関シ江蘇省議會ニ対スル徐

樹錚ノ内話並三井ノ策謀ニ関スル件

支極秘八六号

支極秘第八十五号ノ狀況ヲ昨日徐樹錚ニ告ケ此上ナカラ是非共省議會ノ通過ニ尽力ヲ求メタルニ徐ハ新聞論調ハ深ク顧慮スルニ及ハス来ル二十七日督軍、省長省議員等ニ対シテ信用アル国會議員ヲ派シ咄嗟ノ間ニ通過ヲ計ルヘク該問題ハ多分来月二、三日頃ノ議事ニ上ルヘシ万一否決ノ運命ニ遭遇スルモ現ニ買付中ノ二十万石ハ如何ナル方法ヲ講ンテモ輸出スヘキヲ明答セリ当地三井ヨリ二十七日上海着ノ予定ヲ以テ吉富及王克敏等ニ親交アル支那人ヲ派遣シ尽力ヲナサシム又昨二十五日上海三井ヨリ南京附近選出省議會議員約十名ヨリ運動費前渡五千弗、議案通過後慰勞金十萬弗ヲ以テ各自約十名議員ヲ説得シ絶対多數ヲ得テ通過ヲ計

五七八 三月一日

在北京齋藤陸軍中将ヨリ
上原參謀次長宛(電報)

三井ノ上海ニ於ケル米買入順調ナル件

支極秘第九三号

昨二十八日上海ヨリ当地三井宛左ノ來電アリ
情況稍々良好ナリト認ム昨日迄ニ買付ケタル米ハ總計玄米十二万三千六百石粳米三千二百(三万二千) 余石(支那外)輸出及買付ノ經過引続キ良好ニシテ今後五日中ニ予定ノ二十万石ヲ買滿シタル上尚險惡ノ反響ナケレハ更ニ相当數量買付続行ノ予定又上海三井ニテ(不明) 議員操縦(支極秘第八十六号参照) スルコトハ之ヲ中止セル旨報告シ来ル

五七九 三月二日

在南京清野領事館事務代理ヨリ
在中国小幡公使宛

高田商会江蘇米対日輸出運動見合ニ関スル件

南領機密第八号

大正八年三月二日

在南京領事館事務代理 清野長太郎(印)

在支那

特命全權公使 小幡西吉殿

二江蘇省ハ此ノ際概ネ百万石ヲ限度トシテ輸出解禁ヲ許可スヘシ該數量以上ノ輸出ハ省内剩余米ノ多寡ト市価ヲ暴騰セシメサルコトヲ參酌シ省長、督軍決議ノ上是カ許否ヲ取捨スルモノトス
三前清時代ニハ年々八十萬石ノ貢米ヲ北京ニ送リタリ故ニ百万石ノ輸出ハ數百年ノ実験ニ徴スルモ極メテ容易ナルヤ明瞭ナリ

本件に關スル貴電第一五号御電訓ノ次第八直ニ在上海有吉
総領事ニ對シ同地高田商会支店長へ轉達方依頼致置キ候処
右ニ關シ高田商会ニテハ其運動ヲ見合ハセタル趣別紙写ノ
通り同商会ヨリ申出有之候ニ付茲ニ為念右写供貴覽候敬具
写送付先 外務大臣 在上海總領事

(別紙)

大正八年二月二十八日

原田瓊生

南京帝國領事館

清野領事代理殿

拜啓

江蘇米解禁運動ノ件

二月二十日貴地出張ノ際御話有之候義ニ付去ル二十四日当
地有吉総領事殿ヨリ御呼出ニ相成貴官ノ御依頼トシテ「当
店ガ江蘇米解禁運動ニ従事スルコトハ其筋ノ御方針ニ背ク
ヲ以テ中止セシムベキ旨北京小幡全權公使ヨリ訓令アリタ
ル」旨御伝達ニ相成拜承仕候過日拜眉ノ節申上候通当店ト
シテ従来帝國官憲ノ妨害トナルベキ行動ヲ採リタルコトナ

ク今后モ決シテ致間敷候間左様御承知可被下候尤モ拙者ト
シテハ泰平組合事務ノ關係上李督軍ノ愛顧ヲ忝ウ致居江蘇
米輸出許可ニ關シテモ「三井ニ許可スル場合ニハ必ず高田
へモ買付許可スベシ」トノ言質ヲ得居候義乍他事御諒承被
下度候

当店陸軍省ヨリ下命云々ノ義ハ其后ノ情報ニ依リ北田正平
ナル仁其筋ノ命ニ依リ軍用米輸出ノ計畫罷在其財政上並ニ
実行上ノ援助ヲ当店へ申込タル事判明致申候同氏ハ数日来
当地ニ滞在致居陸軍省御派遣ノ万膳主計正殿トモ接触致万
事円滑ニ運ヒ居候間此義幸ニ御諒承被下度此段乍他事併テ
貴意ヲ得申候 敬具

五八〇 三月三日 在南京清野領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

江蘇省議會ニ於テ江蘇米對日輸出解禁反對案

通過ニ關スル件

第四二号

江蘇米ノ輸出ニ關シ三月四日当省議會ニ於テ出席議員百一
名省長ノ提議ニ係ル米穀弛禁案及議員ノ提出ニ係ル八件ノ

右不取敢

五八二 三月十日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

江蘇米二十万石買付及運送方法ニ關スル件

支極秘第一〇八号

米二十万石ノ買付ハ予定以上良好ノ結果ヲ以テ去ル八日迄
ニ了セリ依テ一時買付ヲ中止シ之カ輸出ニ付徐ト協議中ナ
リ小官ハ不取敢先ツ七十五万石(日本枡約四十五万石天津
ノ集リ方十分ナラス併シ五万石ハ確實ナルヘキニヨリ以上
ノ如ク要求ス)ヲ江蘇省ニテ買取り四回ニ分チテ大連ニ輸
出スヘク之カ税関通過証認ヲ得タシト徐ニ要求シアリ江蘇
省議會ハ昨年ノ輸出禁止決議ヲ其儘維持スヘク本月四日決
議セルカ尚議員買取ノ余地無キニ非サルカ如キ報告ニ接ス
ルモ一面支那側ヨリ小幡公使カ議員買取ノ運動ヲナセリ
(其実公使ハ何等買取ノ運動ヲ為サス)若シ事實ナリトセ
ハ非常ナル一般ノ反對ヲ惹起スヘシト注意シ来レリ依テ議
員ヲ買取スルモ他ニ反對ヲ生セハ結局不成功ニ終ルコト明
カナルヲ以テ之ニハ關係セス然ルニ上海ニテ岑春煊ノ子息

本件反對案ヲ一括討議ノ末重申米禁逕咨省長案トシテ表決
ニ附シタル処殆ソド満場一致ヲ以テ通過セリ
右ニ關シ督軍^{シヤ} 顧問ハ小官ニ對シ李純ハ省議會側ニ對
シ種々意思ノ疏通ヲ計リタルモ事茲ニ到リタル次第ナルガ
李純ニ於テハ尚策ナキニ非ルヲ以テ未タ必シモ絶望スベキ
ニ非ズトノ旨ヲ内話セリ
上海、北京へ転電セリ

五八一 三月七日 在北京齋藤陸軍中將ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

江蘇省議會米ノ對日輸出案否決ノ事後措置ニ

關スル件

支極秘第一〇一号

江蘇米輸出解禁問題ノ去ル三日省議會ニ於テ否決トナレリ
就テハ予テ攻究セシ最後ノ方法ニ關シ目下徐樹錚ト協議中
ナリ又上海方面ヨリ種々ノ法案提出シ来ルモ要スルニ不確
実ニシテ実行可能ト思惟シ得ルモノナシ依テ此場合成ルヘ
ク速ニ最後ノ具体案ヲ支那側ニ協議シ決定ノ上着々実行セ
ントス

カ天津行二万石分ノ護照ヲ有シ之ヲ買収スレバ更ニ六万石分ヲ提供スヘク又外ニ広東行三十万石分有リト云ヘリ三井ニテ調査スルニ該護照ハ確實ナルモノノ如シ仍テ先ツ二万石分ニ付三井ノ名義ヲ出スコト無ク税関ニ該護照ノ有効ナルヤヲ確かメタル上之ヲ買取りテ(買収費一石二弗)徐ノ斡旋成功ヲ待タス著々天津へ輸出シ更ニ大連ニ輸送セントス要スレハ別ニ財政部ヨリ輸出護照ノ発給ヲ得テ天津ヨリ内地ニ直送スヘク依然大連ニ輸送スヘキヤ其辺念ノ為メ指示ヲ請フ但シ江蘇省ヨリ直ニ内地ニ輸送スルコト不可能即今回買収セントスル護照ハ省外移出証明タルニ過キス然レトモ幸ニ銀下落セシニヨリ縱令天津ヲ經テ大連ニ輸出シ且外ニ財政部ノ輸出護照料ヲ支払フモ尚我一石約金三十二円位ニ価シ標準価額ニ対シ余裕アリ右護照ヲ買収セハ直チニ輸出ニ着手シ從テ再ヒ買付ヲ開始セントス買付ハ一切支那人ノ名義ニテ今日迄未タ暴露スルニ至ラス又梱包ノ人夫モ三井ニテ内地人ヲ招致シ遺憾無キ様実施シツツアリト諸事三井ノ尽力ニテ好都合ニ進捗シアリ今後輸送ニ付テモ全ク支那人ノ名義ヲ以テシ三井ハ外面上単ニ其輸送手續ヲ援助スル地位ニ立ツノミ事情斯ノ如クナルニヨリ公然之ヲ発表

茂太郎ヨリ別紙写ノ通り其後ノ成行内報致越シ候ニ付委曲右ニテ御承知相成度此段報告申進候 敬具
写送付先 在支公使 上海総領事

(別紙)

写 (一)

大正八年四月七日

上海

高橋茂太郎

清野長太郎様

(前略) 南京督軍トノ交渉ハ王克敏、施愚両氏並ニ李十一等種々画策解禁尽力試ミ申候へ共李督軍当初ノ賛意ハ依然変化無之候モ当面早急解決ハ到底付キ兼ヌル次第明亮ト相成申候ヲ以テ結局該交渉ハ当分不離不即ノ態度トシ談判一寸打切りトシ運動等李十一君等モ引上ゲ已ニ北京へ引返シ申候依テ第二ノ方法ニヨリ北京齋藤中将ヨリ参戦督辦処軍用米トシテノ護照ノ交付ヲ受ケ之ニ依リ一ト先ツ約式拾万石ノ米ヲ天津へ移送シ天津ヨリハ別ニ方法ニ依リ更ニ之ヲ大連へ送出シ将来必要ニ応シ同地ヨリ財政部ノ輸出護照ニ

スルコトハ嚴禁ニシテ依然秘密ヲ嚴守スルノ要有リ之ヲ要スルニ実行甚タ緩慢ナルハ恐懼ニ堪ヘサルモ逐次解決ノ緒ニ着キ今一段徐ヨリ護照發行ノ確答ヲ得ハ所命ノ事項ハ全ク解決スルモ万膳ヨリ北田某ナルモノ閣下ヨリ買付ヲ命セラレタル由ニテ其ノ買付数量ヲ所命ノ五十万石(天津ノ分ヲ含ム)中ヨリ控除スヘク經理局長ヨリ指示アリタリ然ルニ其買付数量ヲ予定スル能ハス仍テ小官ノ裁決ヲ乞ヒ来レリ然レトモ当方ニ此北田ニ関シ何等ノ御指示ナシ小官ノ推察ニ依レハ当人ノ手ニモ多額ノ数量ヲ得ルコト万々不可能ナリト思考スルモ若シ同人ニ買付方ヲ命セラレ且其購買數量ヲ五十万石ヨリ控除スルヲ要ストセハ暫ク其成リ行キヲ見テ当方ノ買付數量ヲ規定スルノ外ナシ右北田ニ命セラレタルモノナリヤ念ノ為メ伺フ

五八三 四月九日

在南京清野領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛

三井物産ノ江蘇米対日輸出運動ニ関スル件 (四月十五日接受)
南領機密第一八号

本件ニ関シ三井物産会社上海支店ニ於ケル本件担任者高橋

依リ之ヲ日本へ輸出スル事ニ決定近々上海ヨリ招商局汽船ニ依リ参戦督辦処指定ノ採辦委員名義ノ下ニ天津へノ移送ニ着手スル様準備ニ着手致ス次第ニ御座候此件ニ関シ齋藤閣下ト打合セノ為万膳主計正殿目下北京へ出張中近々御帰滬ヲ俟チ小生ト同行一応錦地へ参リ此等経過詳細御報申上クル考ニ御座候へ共取急キ大略右御報申上候(後略)

(一)

大正八年四月八日

高橋茂太郎

清野長太郎様

拜啓

昨日付拙状先着御披見被下候次第ト奉存候同状申入レ候参戦督辦処発給ノ護照ニヨリ天津へ移送ノ義ハ李督軍ハ原トヨリ王克敏、施愚等ニモ全没涉ニテ一切北京ニ於テ当局要路者ト秘密ニ了解出来タルモノニテ当地ニ於ケル該軍米採辦委員モ三井手筋ヨリ米ヲ受取り之ヲ天津へ送出スル事丈ケノ命令ヲ受ケタル而已ニテ真実ニ参戦督辦処へ納入サルルモノト信シ居リ天津ヨリ更ニ大連ニ搬出サレ結局日本人ノ手ニ収メラルル事実ハ全然承知致居ラサル始末ニ御座候

問篤ト御含ミノ上多賀大佐殿以外へハ決シテ御口外被下問
敷相願度愚念トハ存候へ共特ニ此段御願申上候義ニ当方提
出ノ督軍へノ弛禁請願書ハ当面此方ヨリ撤回ヲ為サス依然
彼ノ儘留下セシメ置度存念ニ御座候間之又御含ミノ上必要
ノ場合適宜御応答奉願上候不尽

五八四 四月十五日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ
福田参謀次長宛(電報)

日本向江蘇米ヲ中国軍用米トシテ天津ニ輸送
ノ手續ニ関スル件

支極秘第一四五号

従来参戦軍用ノ兵器其他軍需品へ総テ参戦督辦署ヨリ発給
ノ護照ニテ稅務署及稅関共ニ其輸出入ヲ許セシメテ徐樹
錚ハ軍用米ノ輸出モ亦可能ナリト信シ今回ノ護照ヲ發給シ
タル次第ナルニ当地稅務署ハ参戦督辦署ヨリノ要求ノ通告
ノミニテハ軍用米ノ輸出ハ許可シ難キニ依リ陸軍部ヨリ發
給ノ通告ヲ要スベキ旨申シ来リシニ付過日來陸軍總長ニ
運動シ極力之カ取り計方ニ関シ尽力中ナルモ斬ハ其責任ノ
歸スル所ヲ恐レテカ未タ之ヲ快諾スルニ至ラス又徐ハ母ノ
死去ニ会シ目下帰省中ナル為本問題解決ノ為多大ノ不便ヲ

五八六 四月十八日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ
福田参謀次長宛(電報)

日本向輸出ノ中国米ヲ中国軍用トシテ移出ノ
為天津稅務署ト交渉ニ付報告ノ件

支極秘第一五〇号

支極秘第一四五号電報ノ如ク支那軍用米ノ移出ハ他ノ軍需
品ト異リ只参戦督辦署ヨリ護照發給ノ通知ノミニテハ不可
能ナリ更ニ陸軍部ヨリ海關監督へ護照發給——ノ通知ヲ要
スヘキ旨当地稅務署ヨリ参戦督辦署ニ申シ来リシトノ報ニ
接セシメテ直ニ参戦督辦署楊参謀ニ問合セン所右ハ事實
ニシテ既ニ翁軍械司長及交通次長曾毓雋等協議ノ上陸軍
總長ニ右ノ事情ヲ述ヘ該通告發送方運動中ナリト依テ早速
翁司長ヲ訪ヒ其經過ヲ聞クニ斬ハ「五モジュンテン」ニ對
シ軍用米移出ノ護照發給ヲ禁止シタル關係上日本内地軍隊
用ノモノヲ支那軍用米トシテ移出スルノ不法ナルヲ思ヒ其
責任ヲ恐レテ容易ニ之ヲ承諾セサル由ニテ茲ニ一頓挫ヲ來
セリ而シテ一方全責任ヲ負フテ之ヲ發給シタル徐樹錚ハ祖
母ノ喪ニ服シ帰省不在ナル為如何トモスル能ハス翁司長ヲ

感シアリ昨日モ電報ニテ至急尽力方依頼シヤリシモ前述ノ
次第ナルヲ以テ事急ニ運ヒ難キ情況ナルニ依リ上海ニテ既
ニ準備シアリシ招商局ノ運送船ハ三井ト協議ノ上一先ツ之
ヲ解雇シ今回ノ航海ニハ積ミ出サザルコトトセリ然シ成ル
可ク速ニ之カ解決ニ努力シ事解決次第直チニ輸送ヲ実施ス
ヘキニ付左様御含ミ置キヲ請フ

五八五 四月十六日 金谷天津軍司令官ヨリ
福田参謀次長宛(電報)

天津ニ於ケル米ノ買入及發送ニ関スル件

支駐第三六号

四月十四日天津ニ於テ購買セル米ハ十一万三千三百六十三
袋(我七千二百八十五石)ニシテ中大連ニ向ケ發送済ミノ
分十萬四千七百八十八袋十五日以後一週間以内ニ購買スヘ
キ數量一万一千袋(我六千八百二十石)ナリ購買ハ上記數
量ニ止メ十四日頃迄ニ全部天津ヨリノ發送ヲ終ル見込ナリ
尚既ニ上申セシ如ク可成速ニ内地ニ輸送シ消費スル様セラ
レタシ

同文北京遠藤少佐宛濟ミ

シテ曾毓雋ニ説カシメ又一面(不明)ヲシテヨリモ曾毓
雋ヲ動サシメ且翁ハ此際是非尽力方ヲ段祺瑞ニ懇請シタル
ニ段ハ之ヲ諾シ使者ヲ使ハシ斬ヲ動カサシメタル結果昨日
ニ至リ漸ク斬總長ハ方ヲ承諾セリ

又昨十七日當稅務署辦孫宝琦氏ヲモ之ヲ承諾セシムルヲ得
タリ而シテ陸軍部ハ改メテ護照ヲ發給スルヤ或ハ単ニ通告
ニ留メ依然督辦處ノ護照ヲ使用スルヤハ目下研究中ナリ就
テハ兩三日中ニ右解決ヲ終リ遠カラズ第一回ノ輸出ヲ為シ
得ルノ見込ナリ以上今日迄ノ經過不取敢又先キニ上海ヨリ
天津ニ輸出集積ヲ終リタル江蘇米二万袋(不明)

ノ中一万九千六百七十袋ハ昨十七日迄ニ既ニ大連ニ輸
送済ニテ残り三百三十袋ハ雨濡レノ為メ品質變敗ノ疑アリ
シヲ以テ天津ニテ整理検査ノ結果使用ニ堪ヘサルモノハ只
二十五袋ノミニシテ他ノ三百五袋ハ良好ナルヲ以テ次ノ便
ニテ大連ニ發送ノ筈念ノ為

五八七 七月十日 在奉天赤塚總領事ヨリ
内田外務大臣宛

滿洲産米本邦輸入ニ関シ張東三省巡閱使ニ尺
力方要請ノ件

附屬書 七月九日附在奉天赤塚総領事ヨリ張東三省巡閱

使宛書翰写

公第二六四号 (七月十五日接受)

大正八年七月十日

在奉天

総領事 赤塚正助(印)

外務大臣子爵 内田康或殿

当滿洲ニ於ケル米作ハ土地広大ナルト地味米作ニ適スルトニ依リテ将来頗ル有望ノ産業ト認メラレ殊ニ輓近朝鮮人ノ移住スルモノ激増スルニ連レ米産額モ著シク増加シ本年ノ如キハ幾分ノ剰余米ヲ生スル見込ニ有之若シ今後此趨勢ヲ助長シ大ニ鮮人ノ移住及其ノ米作ヲ奨励センカ本邦ノ米問題ノ一半ハ是ニ依リテ解決セラルヘシト思料致候然ルニ目下支那中央政府ニ於テ米穀ノ海外輸出ヲ禁止シ居ル結果滿洲ニ現存スル剰余米スラ是ヲ本邦ニ輸入スルコト不可能ナルガ故ニ第一ノ先決問題トシテ滿洲産米輸出解禁ノ方法ヲ講スルノ必要ヲ認メ数日前張作霖ニ面会シテ本邦ニ於ケル米問題ノ実情ヲ説明シ滿洲産米海外輸出ノ何等東三省ノ民食ニ關係ナキ所以テ指摘シ之ガ解禁ニ付其ノ援助ヲ求メタ

ヲ示シ細民ノ困難其極ニ達シ米問題ハ今ヤ緊急ノ解決ヲ要スル一大問題タルニ至レリ查スルニ東三省ニ於ケル米ノ産額ハ近年漸ク増大シ本年ノ收穫ハ需要ヲ超過スル予想ナルト同時ニ逐年増加ノ傾向アルヲ以テ貴巡閱使兼省長ノ御尽力ニ依リ右剰余米ヲ弊國ニ輸出スルノ途ヲ開クヲ得ハ弊國ノ慶福之ニ過キス幸ニシテ滿洲住民ノ常食ハ高粱粟王蜀黍等ノ雜穀ニシテ米ヲ食スル者少ナキカ故ニ米ノ輸出ハ毫モ民食ニ影響スル所ナキハ明ナルヲ以テ貴巡閱使ニ於テ上記ノ事情御考量ノ上東三省産剰余米ヲ弊國ニ輸出スル件ニ同意セラレ中央政府ヲシテ東三省産米輸出解禁ノ措置ニ出ル様御尽力相煩度此段照会得貴意候 敬具

五八八 八月六日 内田外務大臣ヨリ 在奉天赤塚総領事宛

滿洲産米本邦向輸出達成ノ為努力方訓令ノ件

通一機密送第二二二号

本件ニ関シ客月十日付公第二六四号ヲ以テ御申越ノ趣了承御承知ノ通り本邦米産額ハ到底内地ノ需要ヲ充タスコト能

七 中国米輸入交渉ニ関ル件 五八八

ル処張ハ直ニ之ヲ快諾シ且ツ我ノ希望ニ副フベク直ニ運動ニ着手スヘキヲ以テ公文ヲ以テ右ノ次第申入レヲ乞フ旨ヲ述ヘタルヲ以テ即チ別紙写ノ公文ヲ發送致置候右及報告候

敬具

本信写送付先 在支公使 閔東長官

(附屬書)

写

公文第三四九号

大正八年七月九日

在奉天

総領事 赤塚正助

東三省巡閱使兼奉天省長 張作霖殿

弊國人民ノ主要常食タル米ハ諸種ノ原因ニ依リ近年著シク不足ヲ告クルニ至リタル結果價格日ニ月ニ暴騰シ一般人民ノ困惑一方ナラサル状態ナルヲ以テ弊國政府ハ百万尽力之ガ産額ノ増加ニ努ムレドモ耕地自ラ限リアルヲ以テ容易ニ其ノ成果ヲ収ムルヲ得ス勢ヒ外国米ヲ輸入シテ之カ不足ヲ補充スルノ外ナキ処之亦諸種ノ障礙有リテ意ノ如クナル能ハス本年ニ到リ米ノ不足益々甚シク價格ハ未曾有ノ大暴騰

ハサルカ為メ從來年々二三百萬石ノ外米ヲ輸入シ漸ク需給ノ調節ヲ謀リ来リタル処客年度ノ内地産米額ハ異常ノ減収ヲ来シタルニモ拘ハラズ印度、仏領印度支那及暹羅ノ各米産地ハ何レモ輸出ヲ禁止シ若クハ制限シ居ルカ為メ目下ノ処多量ノ外米輸入ノ望ナク米価日ニ騰貴シ國民ハ拳テ生活ノ不安ニ襲ハレ居リ右ノ如キ事態カ本年度以後ニ於テモ生スルコトアルヘキハ(1)本邦ニ於ケル人口増加年々七十万乃至百万ヲ算スルニモ拘ハラズ耕地拡張ノ余地少ナキコト(2)今次ノ歐洲戦争以來米ニ対スル歐米各国ノ需要激増シ戦後ト雖モ相当量ノ需要ヲ見ルヘク其ノ結果印度、暹羅及仏領印度支那ノ本邦ニ対スル供給量ノ減少スルコト等ニ徴シ明亮ナルヲ以テ今ニ於テ之カ善後策ヲ講スルニアラサレバ國民生活ハ逐年危殆ニ頻スヘキハ申ス迄モ無之然ルニ支那ニ於テハ大体ニ於テ米産額内地需要額ヲ超エ殊ニ豊年ニ在リテハ米価下落シテ細民ノ困窮ヲ来スヲ例トスルカ如キ状態ナルニ付此際支那米全部ノ輸出解禁ヲ希望シテ已マサル次第ナルモ如何セン支那ニ於テハ穀物ノ外国輸出ヲ以テ民食ノ維持ニ大害アリト為スノ傳統的の觀念ヲ守株シ居ルカ為メ右一般の解禁ハ到底実現ヲ期シ難シト思考セラレ候然レト

モ満洲ニ於テハ貴見ノ通高粱ヲ主食トシ米ハ一部支那人及在留本邦人ノ食用ニ供セラルルニ止マルニ拘ハラス朝鮮人移住数ノ増加等ニ伴ヒ米田ノ開拓セラルルモノ比年増加ノ傾向アルノミナラス滿蒙一帯ニ於テ米田經營ニ適スル土地ニシテ未耕作ノ儘放棄セラレ居ルモノ少ナカラサル趣ニ有之候ニ付此際セメテ滿蒙地方米ノ輸出ヲ解禁セシムルニ於テハ我カ食料問題ノ解決ニ一步ヲ進ムルノミナラス支那側トシテモ不毛ノ地ヲ開拓シテ人民ニ新産業ヲ与ヘ其ノ利福ハ久シカラスシテ大ニ振作セラルルニ至ルヘク旁右ノ実行ハ彼我双方ニ利アリテ害ナク日支經濟上ノ接近ニ資スル処亦少カラサル次第第二有之候ニ付今回張作霖カ貴官ノ申出ヲ承諾シタルヲ幸ヒ同人ヲシテ精々中央政府ヲ説得セシムルト同時ニ帝國政府ニ於テハ在支帝國公使ヲシテ支那政府ニ交渉セシメ兩々相待テ本件ノ解決ヲ図リ度キ所存ニ有之候ニ付テハ本件ニ関スル張作霖ノ運動振ニ付御確メノ上当方及北京へ御報告相成度猶若シ右ニ付彼我双方ノ合意ヲ見難キ場合ニハ(1)南滿洲及東部内蒙古ニ於テ本邦人カ单独又ハ支那人トノ合弁ニヨリ經營シ若クハ投資スル米田ヨリ産出スル米ニ限り輸出ヲ解禁セシムルコトトスルカ又ハ(2)本邦

ニ輸出セラルル米ノ最大量ヲ年々協定シ米作増加ニ伴ヒ之ヲ漸次増加スルコトニ協定スルモ差支無之若又先方ニ於テ右輸出許可ヲ彼我双方ノ協定ト為スコトヲ好マサルカ如キ場合ニハ滿洲産大豆高粱等ノ外国輸出ノ例ニ準シ支那側ヲシテ自ラ許可ノ手續ヲ取ラシメ全然協定ノ形式ヲ避クルコトトスルモ亦已ムヲ得サル義ト思考セラレ候条右様御承知ノ上当方ノ希望達成方ニ付此上トモ一層御努力相成度此段申進候也

本信写送付先在支公使

五八九 八月十六日 在九江河西領事ヨリ
内田外務大臣宛

九江米対日輸出停止狀況ニ関スル件

往信第八六号

(八月二十七日接受)

本件ニ関シ本月十四日附往電第二四号ヲ以テ略報致置候処右ニ付更ニ精査スルニ元来当省米穀輸出禁止ノ問題ハ夙ニ日貨排斥運動ノ勃発以前即チ本年三、四月頃ヨリノ懸案ニシテ該輿論提唱ノ原因ハ当省産米過剩ノ輸出ハ一般ニ米価騰貴ヲ来タシ貧民ノ糊口ヲ困難ナラシムルト謂フニアリ今

茲ニ當時ノ情況ヲ略序センニ本省ハ従来米ノ輸出ヲ禁止セラレ其ノ解禁ヲ見タルハ大正四年以後ノ事ニ属ス爾来当港米輸出ハ頗ル旺盛ニ傾キ大正四年ニハ五九、八九〇担、同五年ニハ三三六六、四九七担、同六年ニハ六三〇、五一六担、同七年ニハ三〇二、三九五担ノ輸出ヲ為シ当港輸出品ノ重要物ト為ルニ至レリ之ト同時ニ省内在米ハ漸次不足ヲ告ケ米価騰貴ノ兆效ニ顯ハレタリ爾来支那人ノ觀念トシテ米価騰貴ヲ以テ国民ノ災厄視セル關係上省内ノ一部人士ハ当局ニ対シテ米輸出禁止ヲ請願スル所アリ又省議會議員中ニモ同伴ニ関シ省議會ニ提案スル者アル等ノ有様ニテ該問題ハ既ニ已ニ省民一般ノ注意ヲ喚起シ居リタルモノナリ然ルニ本年六月中旬以後日貨排斥運動起コリテヨリ学生聯合会ノ活動頗ル目醒マシキモノアリ米問題モ該運動ト牽連シテ彼等ノ利用スル所トナレリ即チ六月十六日十七日九江罷市ニ際シ学生輩ハ当港苦力ヲ煽動シ排貨運動ニ加担セシムルヲ以テ策ノ得タルモノトナシ遂ニ苦力ヲシテ同盟罷業ヲ起サシメ一面細民保護ノ名目ノ下ニ米穀輸出禁止ヲ当局ニ対シ將又商民ニ対シテ強要スル所アリタリ而シテ学生団ノ主張ハ成功シテ遂ニ米穀輸出禁止令ノ発布ヲ見ルニ到レ

リ然ルニ當時恰モ九江迄運搬セラレタル米約五万石ト註セラレ之等ハ突然ナル輸出禁止令ノ為メ空シク倉庫中ニ積蔵シ置カサルヘカラサルノ悲運ニ陥リ中ニハ積堆久シキニ亘リテ米質ニ悪變ヲ来タシタルモノアリ右關係米商ノ損失莫大ナリシヲ以テ産地ノ米商及九江米輸出商ハ各地ノ商務總會ヲ動カシ督軍省長迄其ノ事情ヲ訴ヘ運動中ナリシカ日貨排斥風潮ノ緩和ト共ニ彼等商民ト学生団及地方官憲トノ間ノ交渉ニ幾多ノ迂余曲折ヲ経テ六月下旬頃再ヒ輸出解禁ヲ見ルニ至レリ

然ルニ最近ニ至リ南支那ニ於ケル在米不足ハ江西輸出米ノ好調ヲ促シ從ツテ当地方ノ米価モ日騰貴シ細民ノ窮状ヲ訴フルニ際シ彼学生団ハ日貨抵制ノ徹底の實行ヲ期待スル折柄輸出米ハ仇国ニ供給スルモノニシテ奸商ハ自国民ヲ荼毒スルモノナリト提唱シ即チ督軍及省長ニ対シテハ一般貧民カ米価騰貴ニ帰因セル困状ヲ述ヘテ禁輸ヲ請願シ又一方米業公會ニ対シテハ学生聯合会側ノ意見トシテ学生聯合会ト米業公會トハ共ニ一調査部ヲ組織シ毎日該部ヨリ委員ヲ各米商店ニ派シ米商ノ禁止實行ヲ調査セシメ若シ米商中遇公益ヲ顧ミスシテ私利ヲ図ル者アル時ハ之ヲ懇諭シ尚頑迷

ニシテ悟ラサル者ハ官庁ニ請求シテ処分セントノ議ヲ提出シ同米公会ノ賛同ヲ得タリ
如上ノ事情ノ下ニ学生聯合会首唱ノ禁輸運動ハ頗ル時勢ニ投シタル口実ニシテ商民ニ於テモ之ヲ無視スル時ハ勢ヒ官憲ノ干渉ヲ招致スヘキヲ看取シ寧口此際官憲ノ禁止ヲ俟タス自動的ニ米輸出ヲ停止スルコトヲ得策トシ九江商務總會ハ之カ関係者ヲ招集シテ商議ノ結果産地各代表者モ均ク此ノ趣旨ニ賛同シ愈々本月十五日以后之ヲ勵行スルコトトナレリ

尚本問題ハ直接対本邦貿易ト相関スル所ナシト雖モ地方学生団ハ事毎ニ日本ニ対シテ仇意ヲ挿ミ反抗的態度ヲ悛メサルノ傾向ヲ視知スルニ足ルヘント思考セラル右先電説明旁々此段及具報候 敬具
写送先上海総領事

五九〇 八月二十八日 在奉天赤塚総領事ヨリ
内田外務大臣宛

満洲米対日輸出ニ関シ大總統不認許ノ意向ナ
ルニ付目下許可方尽力中ノ旨張作霖談話ノ件

リ今ニ至ツテ不許可トナラハ日本政府ニ対スル立場ヲ失フ虞アル次第ナルニ付速ニ本件御許可相成度旨申入レ目下折角尽力中ナルヲ以テ不日必ス貴国政府ノ御希望通り解決致スヘキヲ以テ貴国政府ヨリ駐支公使ヲ通シテ中央ニ交渉スル儀ハ暫ク御見合セ相成度シト談話致候尚本官ハ九月ニ至レハ収穫期ニ入ルヲ以テ同月末日迄ニ必ス解決相成度旨申入レタル処彼モ是ヲ承引セル次第ニ有之候条右様御含置相成度此段申進候 敬具
本信写送付先北京公使関東長官

五九一 八月二十九日 在奉天赤塚総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

満洲米対日輸出ニ関シ近ク解決ノ見込ナル旨
張作霖言明ノ件

第二五二号
本月六日附通機密送第二二二号ニ関シ本官ハ張作霖ニ会見シタル処張ハ目下人ヲ中央ニ発シ極力運動中ナルヲ以テ近中無事解決ノ見込ナルニ付貴国政府ヨリ駐支公使ヲ通シテ中央ニ交渉スルノ儀ハ暫ク御見合セ相成タシト声明セリ委細郵便ニ譲ル御含迄ニ

機密公第四二号

(九月二日接受)

大正八年八月二十八日

在奉天

外務大臣子爵 内田康哉殿

総領事 赤塚正助(印)

本件ニ関シ本月六日附通機密送第二二二号ヲ以テ御申越ノ趣敬承本官ハ去ル二十五日日支共同防疫ノ件ニ関シ張作霖ヲ訪問セシ折ヲ利用シ再此本件及交渉候処張ハ本件ハ曩ニ貴官ト会見ノ際ニ於ケル誓言ニ基キ直ニ私信ヲ徐大總統ニ致シ満洲産米ノ東三省民食ニ関係ナク是カ対日輸出ハ反ツテ東三省ヲ利スルコト多大ナルヘキヲ説キ切ニ其ノ許可方及懇願タル処此ノ程大總統ヨリ懇願ノ趣認許難致旨回報有之其ノ理由トスル処ヲ推測スルニ若シ東三省産米ノ輸出ヲ許可スルニ於テハ自然他省ノ産米モ満洲産米ト偽称シ満洲ヲ経テ輸出セラルル虞アリト云フニ在ルカ如ク察セラレタルヲ以テ直ニ陸軍中將張叙五ヲ晋京センメ極力中央ノ嫌疑ヲ解キ米穀ノ対日輸出ハ満洲産剩余米ヲ米価ノ暴騰ニ苦シメル日本ニ輸出シ以テ東三省人民ノ富力ヲ増進センカ為ニシテ且曩ニ本件解決方ニ関シ赤塚総領事ト既ニ契約スル所ア

五九二 十月二十七日 内田外務大臣ヨリ
在奉天赤塚総領事宛(電報)

満洲米対日輸出許可ノ情報ニ付査報方ノ件

第一六八号

張作霖ヨリ支那政府へ申請ノ結果日本へ米供給ノ件許可トナリタル趣情報アル所右実否至急御回電相成タシ

五九三 十月三十日 在奉天赤塚総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

満洲米対日輸出許可ノ趣張作霖ヨリ内話アリ

タルモ許可条件未確定ナル旨回電ノ件

第三二六号 (十月三十一日接受)

貴電第一六八号ニ関シ

支那政府ニ於テ満洲産ノ米穀ヲ日本へ輸出方許可トナリタル趣張作霖ヨリ内話アリタルハ事実ナルモ許可条件ニ関シテハ具体案未確定ノ由ニテ右確定ノ上支那側ヨリ公信ヲ以テ当方ニ通知シ来ル筈ニ付本官ニ於テハ支那側ヨリノ公信接到後更メテ先方ト輸出条件等ニ関シ折衝ヲ行フ考ナリ
在支公使関東長官ニ電報セリ

五九四 十一月十日 在奉天赤塚総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中央政府ハ滿洲米対日輸出差支ナキ旨張作霖

二回訓セリトノ農商次長内話ノ件

第三三一号 (十一月十一日接受)

在支公使発本官宛電報第一九九号

滿洲産米輸出ノ件其後ノ成行ニ関シ深沢ヲシテ十一月八日農商次長ニ就キ聞カシメタル処次長ハ左ノ如ク内話セル趣ナリ

本件ニ関シテハ先ニ張作霖ヨリ電報ヲ以テ東三省ノ人民ハ從來余リ米ヲ需用セス余米アルヨリ日本ニ輸出スルコトトシ度ク許可アリ度キ旨稟請シ来リタルニ付農商部ニ於テハ直チニ許可差支ヘナキモノト認メ國務會議ニ附議ノ結果輸出差支ヘ無キ事ニ決定其旨直チニ張作霖ニ回訓セリ右ハ確カ約一ヶ月若クハ三週間位前ノ事ト記憶ス政府ヨリ既ニ右許可ノ指令ヲ与ヘアルニ不拘張作霖ニ於テ今尙商議ヲ遷延シ居ルコト事実トスレバ何等カ張作霖側ニ迷惑ノアルコト察セラル就テハ右輸出許可ノ指令ガ既ニ中央政府ヨリ張

滿洲米対日輸出ノ数量及年限ニ関シ張作霖ト折衝ノ件

別電一

同日在奉天赤塚総領事発内田外務大臣宛電報第三三四号

二 同日在奉天赤塚総領事発内田外務大臣宛電報第三三五号 滿洲米対日輸出ニ関スル日本側希望張作霖ニ申入ノ件

第三三三三号 (十一月十二日接受)

拙電第三三〇号ニ関シ

概要別電第一号ノ通り張作霖ヨリ照会シ来レルヲ以テ別電第二号ノ通り我方ノ希望ヲ回答シ置キ目下折衝中ナルガ尙先方ニテハ別電第一号ニ関シ其説明トシテ東三省産米ノ本年度ニ於ケル剩余额五千石ヲ特別輸入便法ノ下ニ一年間ヲ限りニ輸出ヲ許可ストアルハ北京政府ヨリ容易許可ヲ得ントセル方便ニ使用セシモノニシテ現ニ最近開原ヨリ二万石輸出方願出アルヲ以テ直ニ之ヲ許可シ置キタルニ徴シテモ輸出数量ニ制限ナキヲ知ルヘク又一年ノ期限ヲ附シタルコトモ決シテ真意ニ非ス将来必ズ繼續シテ輸出ヲ許可スベシ云々ト申出テタルモ斯ノ如ク数量及年限ニ制限アリテハ

ニ対シ発シアルコトヲ次長ノ口ヨリ出デタルコト丈ハ秘密ニ附シ置カレ度シ云々
外務大臣へ転電アリタシ

五九五 十一月十一日 在奉天赤塚総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

滿洲米対日輸出許可指令ニハ一箇年間試弁ヲ

許ス旨明示ノ件

第三三二号

在支公使発本官宛電報第二〇〇号

往電第一九九号ニ関シ

其後次長ヨリ更ニ深沢へ申越ニ依レハ右許可ノ指令ニハ一箇年間試弁ヲ許ストナリ居リ満期ノ上ハ更ニ繼續モ差支ナキ農商部ノ意志ナリ又総量ニ付テハ本令内ニ限定シアラズ右政府ノ許可ガ奉天へ発セラレタルハ確ニ一ヶ月前ナリトノコトナリ
外務大臣へ転電セリ

五九六 十一月十一日 在奉天赤塚総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

滿洲水田経営者ヲシテ躊躇セシムルノミナラス根本ノ精神上(不明)ト背反スルヲ以テ別電第二号ノ趣旨ヲ繰リ返シ再応折衝懇 ヲ試ムル筈

別電ト共ニ北京ニ電シ関東都督及在滿各領事並分館主任ニ郵送セリ

(別電一)

十一月十一日在奉天赤塚総領事発内田外務大臣宛電報第三三四号

滿洲米対日輸出ニ関スル北京政府意向明示ノ件

第三三四号

往電第三三三三号別電第一号

滿洲産米ノ輸出解禁方ニ関シテハ本官ヨリ再三文書及電報ヲ以テ北京政府ニ催促シタルノミナラズ人ヲ発シテ屢々政府ト折衝シタル結果國務院ヨリ左ノ通り通知シ来レリ

國務會議ノ議決ヲ経タル所ニ依レバ特別親善ノ意ヲ証スル為東三省ニ於ケル本年度産出水田米剩余额五千石ヲ特別融通シテ輸出ヲ許可ス但シ一ヶ年ヲ以テ限トス尙章程ニ照シテ財政部ヨリ執照ヲ発給シ一百斤ニ付銀壹元ノ手数料ヲ徴収ス

右ハ特別弁法ニシテ今後ノ例ト為ス事ヲ得ズ云々

(別電二)

十一月十一日在奉天赤塚総領事發内田外務大臣宛電報第三三五号

滿洲米対日輸出ニ関スル日本側希望張作霖ニ申入ノ件

第三三五号

往電第三三三三号別電第二号

滿洲米ヲ日本ニ輸出スルコトタルヤ東三省及各省ノ民食ニ何等影響ヲ及サザルノミナラズ輸出解禁ノ結果ハ水田稲業ノ勃興ヲ来シ民ノ富ヲ増加スル次第ニテ百利アリテ一害ナク日本ハ之ニ依リテ米穀ノ不足ヲ填補シ得ル次第ナルヲ以テ輸出数量並輸出年限ヲ制限(脱)ニ不便ナル手續及手数料ヲ要スルガ如キハ輸出解禁ノ根本精神ヲ了解セザルモノタルヲ免レズ仍テ左記事項ヲ協定センコトヲ提議ス

- 一、東三省産ノ米ハ輸出数量ニ制限ヲ加ヘサルコト
- 二、一年試弁ナル文字ヲ改メテ麦粟豆等ノ輸出ト同様ニスルコト
- 三、財政部ノ執照ハ不便ニ付奉天省ノ執照ニ改ムルコト
- 四、執照発給ノ手数料ヲ廃スルコト

本件交渉ノ成行承知シ置クノ必要有之候ニ付至急詳細御報告相成度此段申進候也

本信写送附先在支公使

註 在中国小幡公使宛本信写ハ通一機密第一六〇号

(附記一)

写

公領第二五号

大正八年十一月四日

在牛莊

領事 酒匂秀一

在支那

特命全權公使 小幡西吉殿

滿洲産米輸出方ニ関スル件

当地海關稅務司ハ別紙写ノ如ク向後一ケ年間滿洲産米ノ日本向輸出ヲ許可シ其輸出手続トシテ財政部發給ノ護照ヲ要シ輸出税ノ外護照費トシテ屯担ニ付一元ヲ徴スル旨布告致候右不取敢一応報告申進候 敬具

本信写送付先外務大臣、在奉天総領事、在長春、鉄嶺、遼陽、安東各領事

五、上記各項ハ兩國協定ノ形式ニ依ルコト

五九七 十一月十二日 内田外務大臣ヨリ
在奉天赤塚総領事宛

滿洲米対日輸出ニ関スル交渉ノ成行報告方訓

令ノ件

附記一 十一月四日附在牛莊酒匂領事ヨリ在中国小幡公使宛公領第二五〇号

滿洲米日本向輸出ニ関スル海關稅務司布告報告ノ件

二 十一月四日附在牛莊酒匂領事ヨリ在中国小幡公使宛機密第三六号

滿洲米対日輸出手続トシテ護照料ヲ要スベキコトニ関シ稟申ノ件

機密通一送第二九号

滿洲米対日輸出方ニ関スル件

本件ニ関シ本月四日附公領第二五号及同日附機密第三六号ヲ以テ在牛莊酒匂領事ヨリ在支小幡公使宛具報ノ旨同領事ヨリ報告有之且右ハ同領事ヨリ貴方へ送附アリタル管ノ同信写ニテ御了知ノ事ト存候処右酒匂領事稟議ノ趣旨ハ相当考量ヲ加フルノ価値アリト被存候就テハ目下貴地ニ於ケル

(別紙)

牛莊海關稅務司ノ布告第二三三号(一九一九年十月三十日)

CUSTOMS NOTIFICATION.

No. 22 of 1919.

EXPORT OF MANCHURIAN RICE TO

JAPAN AUTHORISED.

For the period of one year the export of Manchurian rice is permitted to Japan when covered by Huchao issued by the Ministry of Finance against a fee of \$1.00 per picul and after payment of duty.

Each consignment must be accompanied by a Certificate giving particulars of shipment, this Certificate is to be returned to this Office signed and sealed by the Custom House of port of destination in Japan, as proof that the rice has been duly landed.

(Signed) C. E. S. Wakefield,

Commissioner of Customs.

Custom House,

Newchwang, 30th October, 1919.

(附記二)

写

機密第三六号

大正八年十一月四日

在牛莊

領事 酒匂秀一

在支那

特命全權公使 小幡西吉殿

滿洲産米輸出方ニ関スル件

本件ニ関シ其輸出手續トシテ護照ヲ要シ百斤ニ付壹元宛ノ護照料ヲ要スヘキ次第ハ本日附公領第二五号拙信ヲ以テ報告申進候通りニ有之候処従来此種ノ料金ヲ支那側ニ納付セラル事例無之哉ニ承知致居(尤モ客年末滿洲産大麦ノ輸出手続ニ同様ノ取扱ヲ為セルモ其後御抗議ノ結果取消サルルニ至リシハ御承知ノ通ニ候) 仮令米ノ日本向輸出解禁カ特別ノ事情ニ依ルモノナルニセヨ輸出税以外ニ何等ノ課金ヲ容認スルハ向後ニ惡例ヲ貽スノ虞アル哉ニ存セラレ候而已ナラス前頭大麦輸出特許ノ際申進候通り(客年十一月九日附機密公領第三六号参照) 支那側カ護照発給ニ対シ從量のニ

其ノ料金を徴収セムトスルハ護照ノ性質ニ顧ミ失当ノ儀ト思考セラレ候ニ付テハ貴使ニ於テモ右ニ対シ抗議ヲ要スヘキ筋合ノモノト御認相成候ハハ可然御交渉ノ上其結果御回示相仰キ度此段及稟申候 敬具
本信写送付先 外務大臣 在奉天総領事 在安東領事

五九八 十一月二十二日

東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

中国米対日輸出許可ニ付李財政次長ト会谈ノ

件

支極秘第四百八十四号

昨日李財政次長ヲ訪ヒ支那米輸出ニ関スル彼ノ厚意ヲ謝シタル所彼曰ク右ハ貴國ノ糧食欠乏ヲ救済スル目的ヲ以テ些少ノ便宜ヲ与ヘタルニ過キス長江沿岸ニハ沢山ノ米余リ有ルニ不拘輸出スル能ハサルハ遺憾ニ付自分ハ将来何ントカシテ解禁ノ方法ヲ講セント欲ス自分ハ此機会ニ於テ中秋節ニ際シ多額ノ護照ヲ要求セラレ政府ノ財政上ノ一助ニ供スルヲ得タルヲ謝スト前提シ財政問題ニ就テ彼ノ語ル所左ノ如シ

滿洲米日本向輸出數量及期限ニ関スル張作霖

回答概要報告ノ件

別電

同日在奉天赤塚総領事宛内田外務大臣宛電報第三五四号 右回答概要

第三五三号

(十一月二十六日)

本官発在支公使宛電報第二三五号

本官発大臣宛電報第三三五号ニ関シ張巡閱使ヨリ概要別電往電「第二三六号」ノ通り回答ニ接セリ

五九九 十一月二十五日

在奉天赤塚総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

支那ノ財政窮狀救済ノ為日本当局者カ大ニ尽力セラレ在ル事ハ予テ聞及感謝シ居ル次第ナルモ中秋節ヲモ無事通過シタル事実ヲ以テ一部ノ人ハ支那ハ大國ナルヲ以テ財政困難ト云フモ何トカ遺線ノ付カマ事無シトテ樂觀セララル者無キニアラサルモ其実ハ決シテ然ラス今日迄漕キ付ケタルハ政府カ支那ノ大小各銀行ヨリ融通シ一時ヲ弥縫セシニ過キス即チ其総額ハ少クモ二千五、六百万弗ニ及ヒ春ノ利子ヲ計上スレハ約三千万弗ニ達ス而モ何レモ短期ニシテ且ツ高利借入ナリ
例ヘバ資本金二十五万弗ノ小銀行ヨリ二十万弗ヲ融通セシモノ少カラサル有様ニテ云ハバ支那銀行ヨリ融通シ得ル限り全部借上タルモノナリ来ル陽曆及陰曆節季迄ニハ其返済期限ノ来ルモノモ少カラサルヲ以テ之等ノ小銀行ニ対シ返済不可能ナル場合ニハ忽チ破産ノ不幸ヲ見ルニ至リ從テ金融界ヲ攪乱スルノ憂アリ心痛ニ堪ヘサル次第ニ付是非二千四百万弗借款ノ成立スル様尽力セラレタシ

七 中国米輸入交渉ニ関スル件 五九九

別電ト共ニ大臣ニ電報シ都督及在滿洲領事ニ郵送セリ
(別電)

十一月二十五日在奉天赤塚総領事宛内田外務大臣宛電報第
三五四号

滿洲米日本向輸出数量及制限ニ関スル張作霖回答概要

第三五四号

本官宛在支公使宛電報第二三六号

往電第二三五号ノ別電

滿洲米ノ輸出ニ関シ御提議アリタル協定事項

第一、滿洲産米ノ輸出数量ニ制限ヲ加ヘザルコトハ今回ノ
輸出許可ガ特別親善ノ意義ヲ有スルニ鑑テ融通便利ス可ク
即チ余剩米ハ五千石以上ト雖輸出ヲ許可ス可シ
第二、試弁一年ナル文字ヲ改メテ麦豆粟等ノ輸出ト一律ニ
スベシトノコトハ其原文ガ北京政府ヨリ出テタルモノナレ
バ本巡閱使限リニテ之ヲ改正シ難ク第三、第四ノ財政部執
照及執照手数料ノ件ト共ニ北京政府ヘ問合せ中ナレバ政府
ノ回答アリ次第御通知スベシ云々

六〇〇 十一月二十七日 在奉天赤塚総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

法ト信ズ就テハ右計画成ルヘク成立スル様直接間接ニ援助
方御配慮ヲ請フ
在支公使関東都督在滿洲各領事ニ郵送ス

六〇一 十二月四日 在奉天赤塚総領事ヨリ
内田外務大臣宛

滿洲米対日輸出ニ関スル日本側提議ニ対シ張

作霖回答写送付ノ件

附屬書 十二月三日附在奉天赤塚総領事ヨリ在中國小幡

公使宛機密北第五七号

右回答写

機密公第七〇号 (十二月八日接受)

大正八年十二月四日

在奉天

総領事 赤塚正助(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

大正八年十二月三日附小幡在支公使宛

機密北第五七号写送付

件名

一、滿洲米輸出ニ関スル件

七 中国米輸入交渉ニ関スル件 六〇一

滿洲ニ水田事業經營ノ為中日勸業会社設立計

画ニ関スル件

第三五七号

(十一月二十八日接受)

滿洲産米輸出ノ件不完全ナガラモ解決ヲ告ゲタルヲ以テ従
来当方面ニ於テ商租地ヲ有シ水田事業ニ經驗ヲ有スル四五
ノ有力者相計リテ水田会社ヲ起スノ計画ヲ立テ居ル矢先東
京ニ於テ同様ノ計画ヲ目論見ツツ有リシ倉地鉄吉氏來奉シ
当地有志ト意見ヲ交換シタル結果合同ノ事ニ決定シ之ト同
時ニ京城ニ於テ李完用伯一派ニ於テモ滿洲ニ在ル朝鮮人救
濟ノ意味ヲ以テ同様ノ計画ヲ為シツツ有リテ倉知氏ト会见
ノ結果之亦合同ニ同意シ倉知氏ハ内地方面ニ株主ヲ求ムル
為婦京シタリ該事業ハ日支合弁ト為ス事各種ノ方面ヨリ便
利ナルベシトノ見地ヨリ中日勸業会社ト命名シ支那側ノ参
加ト援助ヲ求ムル筈ニテ目下本官ヨリ折角支那側ニ内々交
渉中ニテ今日迄ノ処支那側モ格別異存ナキ模様ニ看取セラ
ル

本計画ハ確ニ有利ナルモノト認メラルルノミナラス國際的
見地ヨリ見ルモ内地米ノ不足ヲ補ヒ米価ヲ調節スル以外ニ
滿洲ニ於ケル鮮人問題ヲ解決スルニ最モ効果アル實際的方

(附屬書)

機密北第五七号

大正八年十二月三日

在奉天

総領事 赤塚正助

在支那

特命全權公使 小幡西吉殿

滿洲米輸出ニ関スル件

本件ニ関シ客月二十四日往電第二三五号ヲ以テ及報告置キ
タル処今般張作霖ヨリ別紙訳文写ノ通回答越候ニ付右御查
閱ノ上時機ヲ見テ可然御交渉相成度此段申進候 敬具
本信写送付先外務大臣関東長官

(別紙)

照会

奉天省長公署為照会事案查

貴総領事前為水稻出口一案提議第三第四兩条弁法当經咨部

査核致准

財政部有電開准咨日領對於東三省水稻米出口提議五条除答
復外請將三四兩条核復等因查日領所提議該兩条弁法於通案

実多窒礙仍請查照國務會議決原案弁理為荷等因准此相應請
查照此照會

大日本帝國駐奉綏領事 赤塚

東三省巡閱使奉天督軍兼省長 張作霖

中華民國八年十二月二日

(右和訳文)

拜復陳者曩ニ貴總領事ヨリ御提議相成候滿洲産米輸出ノ件ニ関シ第三、第四兩條項ノ弁法(十一月十一日附往電第二二五号御參照)ニ就テハ既ニ財政部ニ照會致置候処今回同部ヨリ「東三省産米輸出ニ関シ日本領事ヨリ照會ニ係ル五ヶ條ノ提議ニ対シ其一部分ニ付テハ一応回答シ置キタルモ(十一月二十四日付往電第二三五号ノ別電御參照)第三、第四兩條項ニ関シ意見回答アリタントノ趣ナル処查スルニ日本領事提議ノ右二條項ノ弁法ハ國務會議ヲ通過セシムルコト実ニ困難ナルヲ以テ前ニ同會議決原案ノ通り弁セラレ度シ」云々ト電報有之候條左様御諒承相成度此段及照會候 敬具

六〇二 十二月十三日 在九江河西領事ヨリ
内田外務大臣宛

江西省ニ於ケル米穀對日輸出解禁事情ニ関ス

ル件

附屬書一 十二月八日督軍米穀弛禁布告寫

二 同日米穀弛禁省長訓令寫

往信第一三六号

(大正九年一月六日接受)

大正八年十二月十三日

在九江

領事 河西 信(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

米穀輸出弛禁事情ニ関スル件

去ル八月中旬江西米業公会ハ學生聯合會ノ米穀禁輸ノ提倡ニ屈服シ九江商務總會ハ之カ關係者ヲ招致シ産地代表者トモ商議ノ結果官憲ノ干渉ヲ招致スルニ先立チ自動的ニ米穀輸出ヲ停止スルニ至リタルノ事情ハ八月十六日附往信第八六号ヲ以テ委曲及具報置候処其ノ後學生等ハ尚右米商ノ処置ニ対シテ満足セス省當局ニ対シ飽迄米穀輸出禁止令ノ佈告ヲ強請シテ止マス

學生聯合會カ如斯米穀輸出ニ反對スルハ彼等ノ言ニ依レハ民食ヲ維持シ仇國ニ糧ヲ供給セサルニ在リトスルモ抑學生連合會カ米穀問題ニ干渉スルニ至リタルハ全ク江西輸出米カ日本ニ轉輸セラルルモノナリト誤想シ而シテ当今日本ニ於ケル在米不足ノ事情ヲ聞知シ日本ニ向ツテ糧米ノ供給ヲ断ツハ日本ニ對スル復讐ノ好手段ナリト意識セルニ依ルモノナリ然レトモ彼等ノ主張ト米穀産地ノ農民及米商トノ利益ハ到底一致スルコトナク且ツ省當局ニ於テモ米捐ニ依リ一部ノ財政ヲ補ヒ居リタル關係上其ノ收入ノ杜絶セルハ目下財政困難ノ砌甚タシキ苦痛ナルヲ以テ業者ノ利益ト當局ノ利益トハ当然期セスシテ相合致シ早晚再ヒ輸出解禁ヲ見ルニ至ル可キ運命ヲ有シ結局時ノ問題ナリト思考セラレ日貨排斥ノ風潮ノ緩和ト共ニ解禁ノ發布ヲ見ルニ至ル可シト觀測セラレ居リシ次第ナリ然ルニ最近ニ至リ金融界ハ益々逼迫ヲ告ケ商民ハ言フニ及ハス省當局モ益々財政上ニ苦痛ヲ感スルニ至リタルト本年ノ米作ハ頗ル豊作ニシテ省内米産地ニ於テハ到处在米過多ニシテ之ヲ或ル程度ノ制限ヲ設ケテ輸出スルモ敢テ民食ヲ断ツノ憂ヒナントノ意見漸ク勢力ヲ得ルニ至リ茲ニ臨川、潯陽、李家渡(三地共省内主要

米産地)等ノ商人等ハ省當局ニ向ツテ米穀輸出解禁ヲ稟請シタリ然レ共尚學生連合會ハ米禁ヲ以テ唯一ノ對日策トナスノ見解ヲ懷メス商民、省當局、及學生間ニ幾多ノ交渉紛糾ヲ重ネタル後漸ク商民ノ主張通り本月八日附ヲ以テ陳督軍ハ別紙寫ノ如ク布告ヲ發スルニ至リ又感省長モ別紙寫ノ如キ長篇ノ米穀弛禁ノ論告ヲ發シ本問題ハ一先解決ヲ告ゲタリ然ル所客月十六日福州問題起リ上海地方ヨリノ宣伝入り込ミ來タルニ及ヒ學生等ハ閩省事件ト共ニ復又米禁問題ヲ提起シ禁止運動ニ狂奔スルニ至リシヲ以テ一旦叙上ノ如ク解決ヲ告ケタル問題ハ益々複雑シ來リ今後果シテ如何ナル解決ヲ見ルニ至ル可キカ殆ト想像スル能ハサル状態ニ在リ探聞スル所ニ依レハ陳督軍ハ學生等カ督軍ノ命ヲ奉セスシテ再ヒ騷擾ヲ惹起セルヲ怒リ南昌ニ於テ學生ノ會合ヲ禁スルト共ニ鎮守使ニ對シテ學生取締ノ訓令ヲ發シタルヲ以テ學生等ハ之カ對抗策トシテ南昌各學校學生生徒ハ一般ニ同盟罷課ヲ決行シ目下之カ緩和策ニ苦心シ居ルモノノ如シ右及具報候 敬具

(附屬書一)

写

十二月八日督軍米穀弛禁布告

農民須米易銀 已經准請弛禁 只許販米鄰省 不准出口外運 業經儲米万石 市價務須平順 如有藉口抬價 立飭軍警查訊 農艱民食並顧 實已籌酌交足 為此布告週知 勿得造謠妄聽

(右和訳文)

督軍ノ米穀解禁布告

農民米ヲ以テ銀ニ易フヘシ已ニ解禁ノ請願ヲ許可セリ只鄰省ヘノ販米ヲ許シタルノミニシテ外国ヘノ輸出ヲ許サス已ニ米ヲ貯藏スル事一万石ナレハ市價務メテ平靜ナルヘン若シ口ヲ藉リテ價格ヲ釣上クルモノアラハ立所ニ軍警ニ命シテ調査セシメン農民ノ困苦ト民食トヲ併慮シテ已ニアラユル手段ヲ尽セリ茲ニ布告週知ヲナス謠言ヲ造リ妄ニ聽ク勿レ

(附屬書二)

写

十二月八日米穀弛禁省長訓令

拋財政庁呈稱、窃查本年夏秋之交、蘇滬禁米出口風潮所播、贛省隨之、其時晚稻、尚未登場、豐歉以未逆觀、為未

兩綢繆、維持民食之計、是以秉承督軍、省長、呈請禁米出境在案、迨至晚稻登場即拋臨川、潯灣、李家渡、等處、農商、教育、各會、呈電交馳、請弛米禁並奉督軍、省長、令庁核議、当即轉函南昌、總商會妥籌議復、旋拋復稱、米穀弛禁一案、本會前次討論、因見示以後、米價並未跌落、彼時多數否認、係指一隅而言、臨川、潯灣、李家渡、等處、所陳存米甚鉅、苦無銷路、血本攸關、牽動金融、影響市面、各節、不無理由、仍請體察情形、酌核會之、否決弛禁、僅就省城一隅而言、並未概括全省、其他各界之反對弛禁亦多、注重於民食問題、正擬籌問、又拋公民、余家棟、吳瑞、黃毓庚、等、農民、陳開元等、先後具呈、僉以禁阻日久、有谷不能出售、又值征收丁漕時期、無款納、生計維艱、籲請弛禁、暨拋臨川、李家渡、商會、會長、李之華等、金谿項山、鄉農會會長、詹臬、等、米商、福聚源、等、相繼呈請、速開米禁各前來、慶均、復查贛省為產米之區、歷年運銷外省之米、不下百余万石、本年早晚兩收、均稱豐稔、民食無虞匱乏、該農民人等、及農商各會、又復一再籲請弛禁、情詞迫切、自應准如所請、即日弛禁以順人情、惟南昌總商會、及其他各界、恐弛禁之後、米價驟增、

有礙民食、亦屬實情、復經慶均、通盤籌畫、切實磋商、現拋潯灣商會會長、許鏡藻、等、担認由弁米出境、各行戶在於省城地方、積存米一萬石、前運後繼、常川不息、如省城米價果漲、即以此項存米、由米商照現在市價出售、以供民食、倘省城米商、抬價居奇、有意擾亂治安、官庁查明為首之人、尽法懲弁、並於出境米穀酌量收捐、為採買穀石弁理平糶之用、各日常平捐、每米一石、收捐洋三角、穀減半由湖口統稅局、龍開河、火車貨稅局、隨正帶徵、發交江西地方銀行、專款存儲、積有成數、即委員前赴產米之區、買穀存倉、以備荒年弁理平糶、論者有謂運米出境、誠恐接濟外洋、今為思患預防之計、擬請鈞令飭九江閱監督、責成報閱運米商人在於該閱、出具不敢販運出洋切結、方准納稅、轉運、以杜流弊、似此兼籌並顧、似於民食商情、均多裨益、但反對者流、恐仍不無訾議、慶均為贛省大局計、所擬弁法是否可行、伏候鈞裁酌奪、如蒙採挾、並請督軍省長、酌定弛禁日期、會銜布告、一面由庁擬訂征收、常平捐章程、呈請核示、合將酌擬贛省米穀弛禁取捐備荒各緣由、具文呈請察核示遵、等情到署、拋此、除指令開呈悉、查臨川潯灣李家渡等處、各商會、暨該處農會、教育會、及米商人

等、迭次籲開米禁、該庁呈督軍手摺、即經督軍會同本省長、批飭妥議在案、閱時已久、不遽開禁、無非為慎重起見其間、如督軍抄送饒副議長、正音、(按饒君呈督軍函、今日已由軍署發抄、因限於篇幅、未及照登)謝議員、鴻藻、兩函述開禁之理由、尤為明晰、惟輿論之紛岐、若彼商民人等之迫切、如此在官吏、自應兼籌并顧、以期折衷至當、夫空談不足以資証驗、其緊要關鍵、則以米價之漲不漲為衡、現呈稱弁米出境之各行戶、担任於省城地方積存米一萬石、常川不息、米價果漲、即以存米照現在市價出售、以防抬價居奇、又出境米穀酌收米捐、每石三角、穀減半、各日常平捐、專款積存銀行、為將來採買穀石之用、是則民食與商情各方面、均已顧到、較前摺所擬、更為周妥、自屬可行、應准如呈弁理、候令九江閱監督、責成報閱運米商人、詢問米往何處交易、出具不敢販運出洋切結、方准納稅轉運、以資查考、而杜流弊、來文恐反對者流、仍不能無訾議、其官吏為地方計、但求此心無負於斯民、作事如青天白日、仰不愧俯不惟、豈浮雲所能掩蔽哉、特世風日下、機械變詐之徒、百出不能不始終慎重耳、所稱弛禁日期、即由庁酌定呈報、再該庁此文、並呈督軍、昨接督軍來函、已指

令如所請、仰即遵照、並轉致南昌總商會知照此令、等語、即發並會同督軍訓令、九江閱監督查照外、合函令仰該道尹即便轉遵飭照云云

(右和訳文)

米穀解禁ニ関スル省長ノ訓令

財政庁ノ呈稱ニ拠レハ「窃ニ查スルニ本年秋夏ノ交蘇滬米ノ輸出ヲ禁止シ其風潮傳播シテ江西モ之ニ倣ヘリ當時晚稻未タ市場ニ出テス豊凶逆觀シ得サリシヲ以テ万全ノ策トシテ民食維持ノ計ヲ立テ督軍省長ニ之カ輸出禁止ヲ呈請シ置キタリ然ルニ晚稻市場ニ出ツルニ至リ臨川、潯灣、李家渡等ノ農商教育各會ヨリ輸出解禁方呈請シ来ルアリ且ツ督軍省長ヨリモ之カ審議方命令アリタルヲ以テ直ニ南昌ノ總商會ニ轉達協議セシメタル処其回答ニ拠レハ「米穀禁輸案ハ本會ニ於テモ曩ニ討議セルモ御下命後米価未タ下落セス為ニ当時多数ハ解禁ヲ否認セシカ右ハ一隅ヲ指シテ言フモノニ係リ臨川、潯灣、李家渡ノ地方カ陳ル所ノ存米甚タ多ク銷路無キニ苦シム資本ノ閑スル所金融及市場ニ影響ス等ノ各事ハ尤ノ儀ニシテ理由ナキニ非ス仍チ事情ヲ察セラレン事ヲ請フ」トノ趣ニテ同會カ曩ニ解禁ヲ否決シタルハ僅ニ

省城ノ一隅ニ就テ言ヒシモノニシテ未タ全省ヲ概括セス其他各界ノ解禁反對亦多シ然ルニ民食問題ニ重ヲ注キタルカ故ニ尚審議中ナリシニ又公民余家棟、吳瑞、黃毓庚等農民陳開元等ノ前後シテ請願スルアリ其ニ拠レハ皆禁輸日久シキヲ以テ穀アルモ出售スル能ハス又丁漕徵收ノ時期ニ際シ納税ノ資無ク生計甚タ困難ナレハ解禁ヲ請願スト亦臨川李家渡商會々々長李之華等金谿項山鄉農會々々長詹泉等米商福聚源等モ相繼テ速ニ解禁方各々呈請シ来レリ復査スルニ江西省ハ産米ノ区ニシテ歷年他省ニ運送スル米ハ百余万石ヲ下ラス本年早晩ノ両收穫モ均シク豊稔ト稱セラレ民食欠乏ノ虞無シ該農民等及農商各會又復再三解禁ヲ請願シ其情詞切迫自ラ請願通許可スヘキ者有リシヲ以テ即日解禁シ以テ輿論ニ順ヘリ惟南昌總商會及其他ノ各界カ解禁後米価遽ニ騰リ民食ニ阻礙スル有ルヲ恐ルルハ亦実情ニ属スルヲ以テ再ビ小官ニ於テハ奔走籌画シ切実研究商量シタルニ今潯灣商會々々長許鏡藻米ノ輸出ヲ担当シ省城地方ノ各商戸ニ米一万石ヲ積存シ置キ常ニ絶サス若シ省城ノ米価騰貴スルアラハ即此ノ存米ヲ以テ現在ノ市価ニ照シテ販売シ以テ民食ニ供スルコトトシ若シ省城ノ米商米価ヲ釣上ケ之ヲ奇貨トシテ

故意ニ治安ヲ擾乱スル有ラハ官庁ハ其首領者ヲ查明シ法ヲ尽シテ懲弁シ且ツ米穀ノ輸出ニハ酌量シテ税ヲ徵シ其金ヲ以テ穀物ヲ買占メテ廉売ノ用トシ之ヲ各々常平捐ト名ツケ米一石ニツキ洋三角ヲ徵シ(粟)穀ハ半額トス何レモ湖口統稅局、竜開河、火車貨稅局ヨリ徵稅シタルモノヲ江西地方銀行ニ交付シテ専ラ蓄積シ成数トナラハ即チ委員米産地ニ赴キテ穀ヲ買ヒ倉ニ存シ以テ荒年ニ際シテ廉売スルノ用ニ備ヘントス論者或ハ謂ハン米ヲ輸出セハ誠ニ外國ヲ救済スルヲ恐ルト然ラハ之カ予防ノ計トシテ九江閱ニ轉飭シ米輸送商人カ該閱ニ届出ノ場合ニハ決シテ之ヲ外國ニ輸出スルモノニアラサル事ノ保証書ヲ入レシメ而シテ始メテ納稅輸運スル様取締リヲ以テ弊害ヲ除ク事トシ斯ク手段ヲ尽セハ民食商情孰レモ裨益スル所多カラン但シ反對者流ハ恐ラク之ヲ誹議センモ小官ハ江西省大局上ノ計トシテ以上ノ弁法ヲ擬ス右行フヘキヤ否ヤ伏シテ鈞裁商量ヲ待ツ若シ採択ヲ蒙ラハ督軍省長ハ解禁ノ期日ヲ酌定シ連名布告セラレン事ヲ請フ一面ニハ本庁ヨリ常平捐徵收章程ヲ擬定シ御査閱ヲ呈請スルト共ニ併セテ江西省米穀ノ解禁徵稅ヲ以テ荒年ニ備フルノ各理由ヲ具ス御査閱ノ上何分ノ御指導ヲ乞フ

等ノ趣申越セリ查スルニ臨川、潯灣、李家渡地方ノ各商會及該処ノ農會教育會及米商人等ハ屢々解禁ヲ願ヒ該庁ハ督軍ニ願書ヲ呈シタルハ督軍ハ本省長ト會同シテ訓令妥議シ時ヲ閱スル事已ニ久シキモ遽ニ解禁セサリキ之慎重以テ事ヲナセルナリ督軍ノ饒(正音)副議長ニ書キ送リタルモノ(按スルニ饒君ノ督軍ニ呈セル書ハ今日已ニ軍署ヨリ発抄シタル管ナルモ紙面ニ限アルニ因リ玆ニ掲載セス)及謝議員(鴻藻)ガ解禁ノ理由ヲ述ヘタル両書ハ尤モ明瞭ナリ惟輿論ノ紛岐彼ノ商民等ノ窮迫此ノ如ケレハ官吏ニ於テハ自ラアラユル手段ヲ尽シ以テ折衷至当ヲ期ス夫空談ハ驗ヲ証スルニ足ラス則チ緊要ノ關鍵ハ米価ノ騰落ヲ以テ衡ト為ス現ニ呈稱スル所ニ拠レハ米穀輸出商人ハ省城地方ニ一万石ヲ積存シテ常ニ絶サス米価果シテ騰貴セハ存米ヲ以テ現在ノ市価ニ照シテ発売シ以テ米価ノ釣上売惜ヲ防キ又米穀ノ輸出ニハ米捐ヲ酌量徵收シ一石ニツキ三角ヲ徵シテ(粟)穀ハ半額トス之ヲ何レモ常平捐ト曰ヒ専ラ銀行ニ貯金シテ将来穀物買占ノ用ト為サントス是則チ民食ト商情トノ各方面ニツキ均シク十分ニ顧慮セラレ居リ之ヲ前請願書ノ擬スル所ニ比較セハ更ニ周妥ニシテ自ラ行フ可キニ属ス応ニ呈

請通り許可シテ弁理スヘク九江関ヲシテ責任アル監督ヲナ
サシメ米商人ガ該関ニ届出ノ場合ニハ其米カ何処ヘ往キテ
交易サルヘキカヲ查明シ決シテ之ヲ外国ニ輸出セサルノ保
証書ヲ入レシメ而シテ後始メテ納税転運ヲ許可シテ以テ查
考ニ資シ流弊ヲ杜カン然ルニ米文ニハ反对者流尚誹議セン
事ヲ恐ルトアルモ其実官吏ハ地方ノ計ノ為ニシテ惟此心民
衆ニ負フナカラン事ヲ求ムヘク作ス所青天白日ノ如ケレハ
仰イテ愧チス俯シテ惟ハス浮雲豈能ク掩蔽スル所トナラン

ヤ特ニ世風日ニ下リ機械変詐ノ徒百出ス常ニ慎重タラサル
能ハザル耳称スル所ノ解禁ノ期日ハ即チ序ヨリ酌定呈報セ
シム更ニ該序此書ヲ督軍ニ呈シタルニ昨日督軍ノ来函ニ接
セリ其文ヲ見ルニ已ニ請願通り指令シタルハ遵照セシメ尚
南昌総商会ニ致シテ本令ヲ知照セシメヨ等ノ語アリ即チ発
ス且ツ督軍ト会同シ九江関監督ニ訓令シ査照セシムルト共
ニ併セテ茲ニ令ス該道尹即轉遵飭照ニ便セヨ云々

事項八 中国鉄道国際管理問題一件

六〇三 一月二十一日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

中国鉄道国際管理提唱ニ関スル天津発行英字

新聞記事報告ノ件

公第一七号 (一月二十八日接受)

大正八年一月二十一日

在支那

特命全權公使 小幡西吉 (印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

本月十四日ノ「ノース、チャイナ、スター」北京通信ハ歐
洲平和ノ克復ニ伴ヒ倫敦ニ於テハ支那実業開発ノ問題漸ク
論議セラルルニ至リタル旨報道致居候処今二十一日ノ同通
信ハ右十四日ノ通信ニ関連シ右ハ紐育ニ於テモ同様ニシテ
殊ニ鉄道事業ニ関シ然ル旨ヲ叙シ其要点ハ從來ニ於ケル列
国利権争奪ノ弊ヲ罷メ所謂「プーリング」ニ依リ一団ノ国
際委員会ヲ組織シ全国ノ鉄道ヲ之カ投資管理ノ下ニ置カム
コトヲ唱スルニ在リ右ハ未タ何等纏リタル話アル次第第二ハ

アラサルモ北京ニ於テモ既ニ諸方面ニ有力ナル支持者アル
旨報シ居候尚委細ハ別紙切抜ニ就キ御査閱相成度御参考迄
此段申進候也

註 別紙切抜省略ス

六〇四 二月一日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

中国鉄道国際管理問題ニ関スル在中國外人間

ノ趣向ニ付報告ノ件

第一五八号 (二月二日接受)

支那鉄道国際共同管理提唱ニ関スル「ノース、チャイナ、
スター」ノ記事ニ付テハ一月二拾一日附公第一七号往信ヲ
以テ報告シ置キタルガ是ヨリ先一月拾一日「ジュールナ
ル、ド、ペカン」ハ社説ニ於テ支那鉄道国際共同管理ノ必要
ヲ説キ京津「タイムズ」ハ一月二拾一日以後毎日又ハ隔日
ニ連載シ居ル Reconstruction in China ニ関シ為セル其ノ
社説(日頃感情ニ奔リ易キ同紙ニ似気無ク大体真摯ナル書
振ナリ委細郵報)中ニモ之ヲ論ジ又三拾日「ジュールナル、